Panasonic®

取扱説明書

ポータブルテレビ

品番　SV-MC75

安全上のご注意
準備
テレビを見る／録る
ビデオを見る
写真を見る
音楽を聴く
各種設定
その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（86 ～ 90 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

困ったときは？

こんな表示が出たら：　71 ～ 73 ページ
故障かな !?：　74 ～ 76 ページ
Q&A（よくあるご質問）：　77 ページ

保証書別添付

RQT9523-1S

いろいろなシーンで
「見る・聴く」を楽しもう！

テレビを見る　P18

ワンセグチューナーが付いているので、手軽に本機を外に持ち出してテレビを楽しめます。

- 初めてお使いになるときは、まずチャンネル設定をしてください。（P16）

写真を見る・

写真（JPEG）を内蔵メモリーに保存していつでも楽しめます。（P42）

音楽を聴く　P55

内蔵メモリーやSD/microSDカードに記録した音楽を聴くことができます。

録画する P24

ワンセグ放送を内蔵メモリーや
SD/microSDカードに録画できます。

視聴中の番組を録画 P25
録りたいと思ったときに、すぐ!

番組表から予約録画 P26
画面の番組表でカンタン予約

日時を指定して予約録画 P29
計画的に予約録画する

録画した番組を見るには…(P34)

コピーする

デジタルカメラや携帯電話とカンタン写真交換!
(P40、41、51、52)

ビデオを見る P34

内蔵メモリーやSD/microSDカードに記録したビデオを楽しむことができます。

番組持ち出し機能対応のDIGAやテレビで録画した番組も再生できる。

もくじ

準備

テレビを見る / 録る

ビデオを見る

写真を見る

「安全上のご注意」を必ずお読みください（86 ～ 90 ページ）

音楽を聴く

各種設定

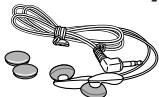
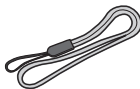
その他

■ 本書内の表記とイラストについて

- 本機は、SD/microSD カードスロットを搭載しており、お持ちのカードに合わせてお使いいただけます。本書では､必要な場合を除いて､これらのカードを｢SD カード｣ と表記しています。
- 本書内の画面イラストは、内蔵メモリーを例に説明しています。
- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

1. 付属品

付属品をご確認ください。
かっこ【　】内は、買い替え時の品番です。
品番は、2009 年 9 月現在のものです。品番は変更される場合があります。

□ AC アダプター【RFEA503J】	□ USB 接続ケーブル【K1HY04AD0001】
□ ステレオインサイドホン【L0BAB0000217】	□ 外付けスタンド【RFA3051】
□ CD-ROM	□ ハンドストラップ【RFC0151】
本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。	

• 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品のご紹介（2009 年 9 月現在）

ソフトケース　RP-SB450

2. まずお読みください

■ テレビ放送について

地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴できます。（アナログ放送は受信できません。）

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは

- 携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります。）
- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

準備

- 本機は緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。

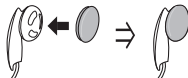
■ 本機は防水対応ではありません

お風呂など水のかかるところでは使用しないでください。

■ 記録内容の補償はできません

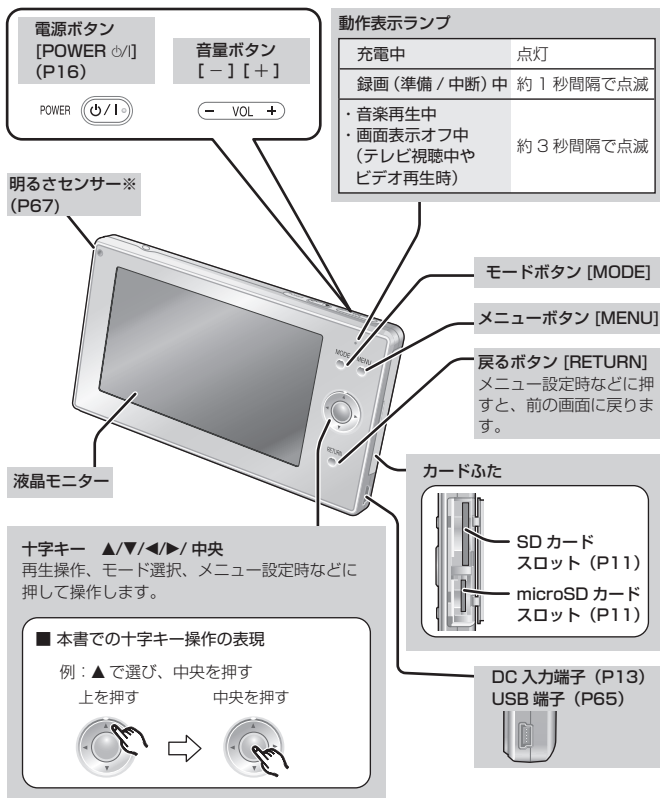
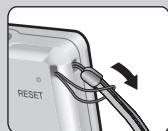
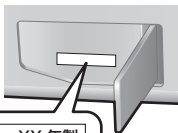
- 本機及び、内蔵メモリーや SD カードの不具合で記録されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
  内蔵メモリー : 録画、音楽データ、写真データ
  SD/microSD カード : 録画、音楽データ、写真データ
- 本機を修理した場合、内蔵メモリーはお買い上げ時の状態になるときがありますのでパソコンなどでデータのバックアップをおすすめします。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ ステレオインサイドホンについて

- 付属のイヤーパッドを交換する場合は右図のように取り付けてください。
- 冬場など空気が乾燥しているときは、静電気によってプチプチと異音が聞こえたり、耳元でパチッと放電することがあります。これは衣服などに帯電した静電気によるもので故障ではありません。市販の静電気防止スプレーなどを使用することで軽減することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

3. 各部の名前

※ 本機を手に持ったとき、指で明るさセンサーの窓をふさいだり、シールを貼ったりしないでください。
センサーは周囲の明るさを検知して自動的に画面の明るさを変えており、センサーの窓をふさいでいる間は、明るさの検知ができなくなる場合があります。

- ホールド状態にすると、再生が中断するなどの誤操作防止になります。
  また、ポケットやかばんに入れたときに起こる誤操作や、誤操作による電池の消耗を防ぎます。

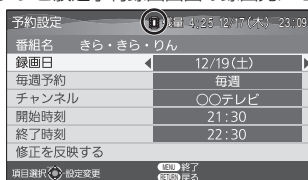
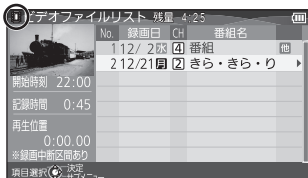
4. 本機で表示されるアイコンについて

本機は、内蔵メモリーや SD/microSD カードにテレビ放送を録画したり、ビデオファイルの再生、写真データや音楽データの再生をすることができます。
録画先メモリーや再生メモリーの設定状態が識別できるように、以下のアイコンを使って画面上に表示しています。

：内蔵メモリー / ：SD カード / ：microSD カード

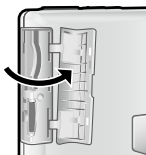
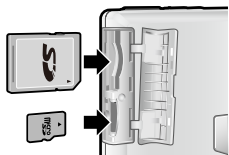
（以下の画面は、内蔵メモリーを例に説明しています。）

・テレビ放送画面の録画先メモリーのアイコン表示

・テレビ放送予約録画画面の録画先メモリーのアイコン表示

・ビデオ / 写真 / 音楽再生画面の再生メモリーのアイコン表示
（例：ビデオファイル再生の場合）

お知らせ

- **お買い上げ時の録画先メモリーと再生メモリーは内蔵メモリーに設定されています。SD/microSD カードをご使用される場合は、設定の切り換えが必要です。**
- 録画先メモリーの切り換えは、23 ページをお読みください。
再生メモリーの切り換えは、[ビデオを見る]（P34）、[写真を見る]（P41）、[音楽を聴く]（P55）をそれぞれお読みください。

5. SD カードを入れる / 取り出す

1 カードふたを開ける

2 SD カードを入れる（出す）

入れるとき

SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ奥まで入れてください。

出すとき

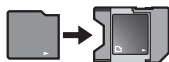
SD カードを「カチッ」と音がするまで押して、まっすぐ引き出してください。

3 カードふたを閉じる

カードふたをまっすぐ押し込んで閉じる

miniSD カード /microSD カード

- miniSD カードは専用のアダプターに装着して、SD カードスロット（P8）に挿入してください。

miniSDカード

- microSD カードは、直接本機の microSD カードスロット（P8）に挿入してください。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

お知らせ

- SD カード（80 ページに記載）以外のカードは入れないでください。
- 本機で再生中、録画中、コピー中および USB 接続してデータを転送しているときは SD カードを取り出さないでください。転送中や録画中に取り出すと、SD カードの内容が破壊される場合があります。
- SD カードや microSD カードをご購入後、初めて使用される際は、カードを本機でフォーマット（P70）することをおすすめします。

6. 本体スタンドとアンテナの使いかた

■ 本体スタンドの使いかた

矢印の方向に開くと、本機を手で持たなくても、立ててテレビ放送などを見ることができます。

本体スタンド

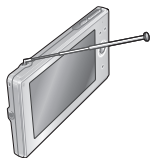
(お知らせ)

- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 本体スタンドは、約 80 度に開いた状態で使用してください。これ以上無理に開いて使用すると、本機が倒れやすくなったり、本体スタンドが変形し、破損する場合があります。

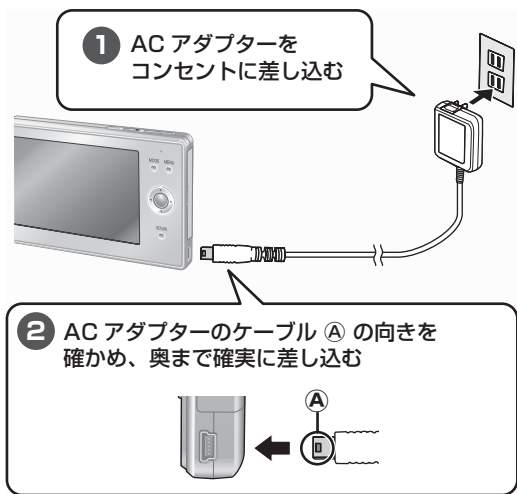
■ アンテナの使いかた

テレビ放送を見る場合は、アンテナを立ててください。
アンテナはまっすぐ上に引き出してください。完全に引き出したあとで、アンテナの向きを調整してください。

- 収納するときは、アンテナの向きを垂直に戻し、アンテナの下の方を指で支えながら、アンテナの上をゆっくりと押してください。

アンテナの取り扱い
アンテナが液晶モニター側に向いているときは、先端が目などに当たらないように注意してご使用ください。

(お知らせ)

- アンテナが本体に収納されたままの場合、テレビ放送の受信や録画ができない場合があります。必ず、アンテナを立ててください。
- テレビを見ないときや録画をしないときは、アンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

7. 電源の準備をする

お知らせ

- AC アダプターは本機専用です。他の機器に使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。

8. 充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

1 （電源が入っている場合は）[POWER ⏻/I] を押して、電源を切る

2 本機と AC アダプターを接続する（P13）

充電中　：点灯
充電完了：消灯

動作表示ランプ

（お知らせ）
- 電源が入っているときでも充電されますが、満充電になるまで約 10 時間かかります。（お買い上げ時の設定の場合）また、充電中の表示はされません。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 内蔵の充電式電池は、屋外に持ち出す場合の電源として使用できます。部屋などで長時間テレビを見る場合は、AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせず視聴することができます。

エコ充電の設定

はじめてお使いの場合は、まずチャンネル設定（P16）をしてから、設定してください。

通常充電か、エコ充電かを設定します。

通常充電（オフ）：
100 % の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。（お買い上げ時の設定）

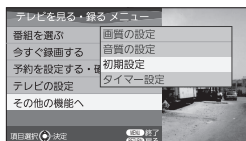
エコ充電（オン）：
90 % の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。（電池持続時間は通常充電の 90 % になります。）

- 電源を入れておく（P16）

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で［その他の機能へ］を選び、中央を押す

画面例は［テレビを見る・録る］モードの場合

3 ▲/▼ で［初期設定］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で［エコ充電設定］を選ぶ

5 ◀/▶ で［オフ］または［オン］を選ぶ

オフ：通常充電
オン：エコ充電

◇メニュー画面を消すには
[MENU] を押してください。

お知らせ

• 1 分以上操作しない場合、メニュー画面が消えます。

☞ **電池持続時間については：P84**

内蔵電池について

■ 充電時間

通常充電時	約 4 時間 30 分
エコ充電時	約 3 時間

– 周囲温度 25 ℃で充電時
– 電池を使い切った状態※から充電時
※ [電池残量がありません。充電してください。] と表示されます。

充電環境について
充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなったり、充電できない場合があります。この場合、液晶モニターにメッセージ（P73）が表示され、動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

■ 充電回数

通常充電時	約 500 回
エコ充電時	通常充電時の約 2 倍

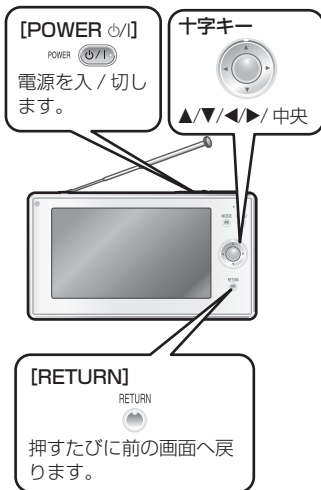
■ 上手にお使いになるには

以下の使いかたをすることにより、電池寿命（充電回数）が長持ちします。
• エコ充電設定を［オン］で充電してください。
• 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。

■ 電池残量表示について

[▯▯▯] → [▮▯▯] → [▮▮▯] → [ ] — 赤色

表示が消えているときは、十字キーの ▲ を押すと確認できます。
表示を消している場合でも［ ］になると常時表示に切り換わり、しばらくすると電源が切れます。
［ ］表示に変わったときは早めに充電してください。

9. 電源を入れてチャンネル設定する

都道府県（地域）に登録されているチャンネルについて

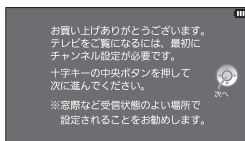
放送局名は、2009 年 9 月時点の放送局運用規定に基づいています。

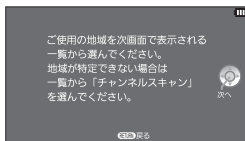
- ご使用の地域によっては、電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。
- ワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されていますが、サービスが開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、将来変更になる場合があります。

[POWER ⏻/I] を押して電源を入れる

お買い上げ時はチャンネル設定されていません。以下の手順でチャンネル設定をしてください。

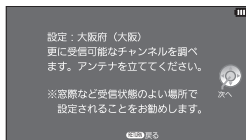
- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。

- アンテナを立てておく（P12）

❶ 画面を確認し、十字キー中央を押す

❷ チャンネル設定の方法を確認し、十字キー中央を押す

❸ ▲/▼ で使用する地域を選び、中央を押す

- 地域が特定できない場合は［チャンネルスキャン］を選んで手順❺へすすんでください。

4 ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す

5 画面を確認し、十字キー中央を押す

現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを調べて表示します。※

6 チャンネル一覧を確認し、十字キー中央を押す

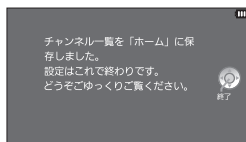
7 ◀/▶ で［登録する］を選び、中央を押す

- 登録し直したいときは、［やり直す］を選んで手順❶から再度操作してください。

■ 消去したいチャンネルがある場合

チャンネル設定を終えてから、映りの悪いチャンネルや不要なチャンネルを消去することができます。

☞ チャンネルを消去するには：P22

8 画面を確認し、十字キー中央を押す

- 上記の操作でチャンネルは［ホーム］に登録されています。本機では［ホーム］のほか、［おでかけ］にもチャンネルを登録できます。

☞［おでかけ］に登録する：P21

お知らせ

※都道府県（地域）に登録されているチャンネルと検索されたチャンネルが表示されます。（手順❸で［チャンネルスキャン］を選んだ場合は、検索されたチャンネルのみ表示されます。）

- 約 5 分以上操作しない場合は、自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）
- 放送局は最大 18 局まで登録できます。
- ひとつのチャンネル内で複数の番組が放送されるサービスに対応するチャンネルがある場合は、放送局の末尾に「-2」「-3」が表示されます。

1. テレビ放送を見る

■ 本書での十字キー操作の表現

例：▲ で選び、中央を押す

上を押す　　中央を押す

• アンテナを立てておく（P12）

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼ で［テレビを見る･録る］を選び、中央を押す

テレビ放送を受信します。番組情報表示（P19）はしばらくすると消えます。

番組を選ぶ

◀/▶ を押す

音量の調整

[−][+] を押す
• お買い上げ時の設定：[15]
• ［0］～［25］の間で設定できます。

■ 映像の乱れがあるときは

屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。場所を変えたり、アンテナの角度を調整してください。

お知らせ

• ［現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。］が表示される場合、チャンネル設定をしたときと異なる地域の放送を受信しています。チャンネルを設定し直してください。（P21）
• モード切換画面やメニュー設定画面では、1 分以上操作しない場合、切換 / 設定画面が消えます。

■ 番組情報表示を切り換えるには

テレビ放送を視聴中に十字キーの ▲ を押すと現在視聴中の放送局名や電池残量などの表示 / 非表示を切り換えることができます。▲ を押すたびに表示が変わります。

▲ を押さなくても、5 秒経過すると
自動的に③の画面に変わります。

• 電池残量少のとき、[ ] が表示されます。(P15) [ ] は消せません。

Ⓐ 選択しているチャンネルを表示

Ⓑ [ホーム] / [おでかけ] のどちらに登録したチャンネルを受信しているかを表示 (P21)

：[ホーム] ：[おでかけ]

Ⓒ 電波の受信レベルの目安 強 弱

Ⓓ ：[小声を大きくする] を設定時 (P68)

Ⓔ ：電池残量表示 (P15) ：AC アダプター使用時

Ⓕ 十字キーの操作ガイド、[RETURN] の操作ガイド

• 対応するキーやボタンを押すとガイド表示の動作をします。

Ⓖ 内蔵メモリーや SD カードへの録画可能時間の目安

例) 残量 1：30　内蔵メモリーの残量が 1 時間 30 分です。

残量 – –：– –　の場合は、SD カードが入っていません。

• [録画先メモリー選択] (P23) で選択したメモリーのアイコンが表示されます。(：内蔵メモリー / ：SD カード / ：microSD カード)

• 録画可能時間について、詳しくは 85 ページをお読みください。

2. 選局する

• [テレビを見る・録る] モードにしておく (P18)

番組表から選局する

番組表を表示し、番組内容を確認しながら現在視聴できる番組を選ぶことができます。

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で [番組を選ぶ] を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で [番組表を見る] を選び、中央を押す

4 ◀/▶ でチャンネルを選ぶ

• 放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

◇ **番組表を消すには**

[MENU] を押してください。

■ 番組内容を見る

手順❹で ▲/▼/◀/▶ を押して番組を選び、中央を押すと番組内容を表示することができます。

チャンネルを選ぶ： ◀/▶ を押す
番組を選ぶ　　　： ▲/▼ を押す

◇ **番組内容を消すには**

◀/▶ で [視聴画面へ] または [戻る] を選び、中央を押してください。

（お知らせ）

• 番組表には、最大 10 番組まで表示されます。

チャンネル一覧から選局する

1 テレビを視聴中に [RETURN] を押す

2 ▲/▼ でチャンネルを選び、中央を押す

▲/▼ でチャンネルを選んでも、画面は変更したチャンネルに切り換わりません。

3. チャンネル設定の変更など

[ホーム][おでかけ]にチャンネルを登録(変更)する

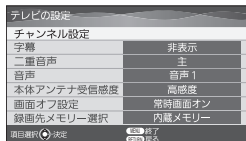
本機は[ホーム][おでかけ]の 2 種類にチャンネルを登録できます。
ご使用場所に応じて登録しておくと、移動するたびにチャンネル登録し直す必要がないので便利です。

- チャンネル設定は使用する場所で行ってください。
- チャンネル設定は、変更するたびにチャンネルを新しく登録し直します。
- 設定したチャンネルは、電源を切っても保持されます。
- [ホーム][おでかけ]には、放送局をそれぞれ最大 18 局まで登録できます。

- [テレビを見る・録る]モードにしておく(P18)
- アンテナを立てておく(P12)

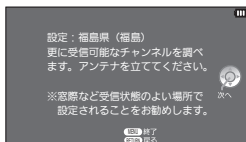
1 [MENU]を押す

2 ▲/▼ で[テレビの設定]を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で[チャンネル設定]を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で使用する地域を選び、中央を押す

- 地域が特定できない場合は[チャンネルスキャン]を選んで手順❻へすすんでください。

5 ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す

6 画面を確認し、十字キー中央を押す

7 登録する放送局を確認し、十字キー中央を押す

8 ◀/▶ で保存場所を選び、中央を押す

ホーム：ご自宅などよく利用する場所のチャンネルを登録する場合などに設定してください。

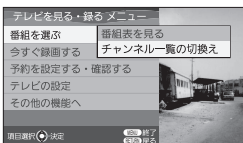
おでかけ：滞在先などでテレビを見る場合などに設定してください。

☞ [ホーム]、[おでかけ]を切り換える：P22

チャンネル一覧を切り換える（ホーム⇔おでかけ）

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で [番組を選ぶ] を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で [チャンネル一覧の切換え] を選び、中央を押す

[チャンネル一覧を「○○」に切り換えました。] と表示されます。

☞ [ホーム]、[おでかけ] の設定：P21

チャンネルを消去する

1 テレビを視聴中に [RETURN] を押す

2 ▲/▼ で消去するチャンネルを選び、▶ を押す

3 [チャンネル消去] を選び、十字キー中央を押す

4 ◀/▶ で [はい] を選び、中央を押す

◇ チャンネル一覧画面を消すには
[RETURN] を押してください。

お知らせ

- チャンネル一覧は [ホーム] と [おでかけ] に切り換えることができます。[おでかけ] に登録（P21）されていない場合は、チャンネル一覧を切り換えることはできません。
- チャンネル一覧に登録されたチャンネルが 1 つしかない場合は、消去できません。

4. テレビの設定

• ［テレビを見る・録る］モードにしておく（P18）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［テレビの設定］を選び、中央を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で設定する

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

◇ **メニュー画面を消すには**
[MENU] を押してください。

●お買い上げ時の設定

字幕

字幕放送に対応した番組が放送されている場合に、字幕を表示できます。

● **非表示**　○ **言語 1**　○ **言語 2**

• ［言語 1］や［言語 2］に設定しても、対応する字幕情報がない場合、字幕は表示されません。

二重音声

二重音声に対応した番組が放送されている場合に、二重音声を切り換えて視聴できます。

● **主**　○ **副**　○ **主＋副**

• 二重音声に対応していない場合、主音声での視聴になります。

音声

番組内で複数の音声信号が放送されている場合に、音声を切り換えることができます。
（2009 年 9 月現在、ほとんどの番組は［音声 1］のみ放送されています。）

● **音声 1**　○ **音声 2**

• ［音声 2］に設定していても、以下の場合は［音声 1］に変更されます。
  - 電源を切ったり、チャンネルやモードを切り換えたとき
  - 番組視聴中、［音声 2］の放送がなくなったとき

本体アンテナ受信感度

● **高感度**
テレビ放送を高感度で受信

○ **通常感度**
テレビ放送を通常の感度で受信
- テレビ塔の近くなど、電波が強すぎるときに設定してください。

画面オフ設定

画面を消して、音声だけでテレビ放送を楽しむことができます。

● **常時画面オン**
○ **HOLD 時画面オフ**

• ［HOLD 時画面オフ］を選び、ホールド状態にすると画面が消えます。画面を再びオンにするには、ホールドを解除してください。
• 表示画面が消えている間は、動作表示ランプ (P8) が点滅します。

録画先メモリー選択

選択したメモリーにテレビ番組を録画することができます。

● **内蔵メモリー**
○ **SD カード**
○ **microSD カード**

お知らせ

• ［字幕］［二重音声］［画面オフ設定］の設定は、［ビデオを見る］モードの［ビデオの再生設定］の設定と共通です。

5. 録画について

本機では以下の 3 つの方法で録画できます。

視聴中の番組を すぐに録画したい ▶▶▶ 今すぐ録画する　P25

「今すぐ録画する」で録画する場合、録画中に電源を切ると録画も停止されます。

- 液晶モニターを消灯して録画を続けたい場合は、番組表予約や日時指定予約をしてください。

番組表 で確認しながら 予約したい ▶▶▶ 番組表予約　P26

- 番組表は、最大 10 番組まで表示されます。また、放送局によって表示数が少ない場合があります。番組表に表示されないときは日時指定予約をしてください。

番組表に表示されていない番組を 予約したい ▶▶▶ 日時指定予約　P29

- 日時指定予約では、番組延長した場合の番組追従録画には対応していません。

確実に録画するため、録画の前に確認	• 事前に予約録画のチャンネルが受信できることを確認してください。また、予約録画中は本体とアンテナを立てた状態にしておいてください。 • 録画する場合は AC アダプター（P13）の使用をおすすめします。電池残量を気にせず録画することができます。
録画中は	SD カードに録画する場合、SD カードを取り出さないでください。SD カードの内容が破壊される場合があります。
録画した番組を再生するには	ビデオ再生対応のポータブルテレビ（SV-MC75、SV-MC55、SV-ME850V、SV-ME750、SV-ME700、SV-ME75）で再生してください。ポータブルテレビ以外の機器については下記サポートサイトでご確認ください。他社製品などこれら以外の機器で再生することは保証していません。（2009 年 9 月現在） http://panasonic.jp/support/audio/ ☞ 録画した番組を再生するには：P34

- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号（「録画不可（コピーネバー)」、「1 回だけ録画可能（コピーワンス)」、「録画制限なし（コピーフリー)」を制御する信号）が組み込まれています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 本機で録画した番組をパソコンなどへエクスプローラで直接転送して見ることはできません。また、パソコンにコピーしたファイルをエクスプローラで本機に再度転送しても、再生することはできません。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ放送では同じ番組が放送される場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。新聞や雑誌の番組表を見て予約した場合、ワンセグ放送で独自の番組が放送されていると、希望の番組と違う番組が録画されます。

6. テレビ放送を録画する

受信したテレビ放送を、内蔵メモリーや SD/microSD カードに録画できます。

視聴中の番組を録画する（今すぐ録画する）

- （カードに録画する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［テレビを見る・録る］モードにしておく（P18）
- 録画先メモリーを選択しておく（P23）
- 録画したいチャンネルに変えておく

■ 本書での十字キー操作の表現

例：▲ で選び、中央を押す

上を押す　　中央を押す

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［今すぐ録画する］を選び、中央を押す

録画を開始します。
（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅し、画面左下に ●録画中 が表示されます。）

AC アダプター使用時は、停止操作をするまで、最大約 8 時間録画し続けます。

■ 録画を停止する

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［録画を停止する］を選び、中央を押す

◇ 録画中に電源ボタンを押した場合
確認画面が表示されるので、◀/▶ で［はい］か［いいえ］を選び、中央を押してください。

- ［はい］を選ぶと、録画が停止して電源がオフになります。

☞ 録画した番組を再生するには：P34

お知らせ

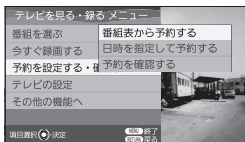
- 録画中に録画先メモリーの残量が不足して録画できなくなっても、他のメモリーに録画は引き継がれません。
- 内蔵メモリーに記録された録画ファイルは、SD カードに転送できません。また、SD カードから内蔵メモリーにも転送できません。

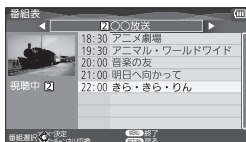
番組表から予約録画する（番組表予約）

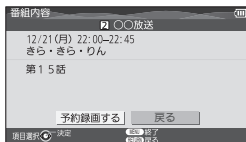
- （カードに録画する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［テレビを見る・録る］モードにしておく（P18）
- 録画先メモリーを選択しておく（P23）

1 ［MENU］を押す

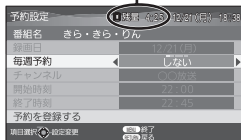
2 ▲/▼ で［予約を設定する・確認する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［番組表から予約する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で予約する番組を選び、中央を押す

チャンネルを選ぶ：　◀/▶ を押す
番組を選ぶ　　　：　▲/▼ を押す

- 最大 10 番組まで表示されます。
- 放送局によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

5 ◀/▶ で［予約録画する］を選び、中央を押す

6 （繰り返し録画しない場合）
手順7へすすむ

（繰り返し予約する場合）
▲/▼ で［毎週予約］を選び、◀/▶ で設定する

録画可能時間

◇ **毎週予約**
選んだ番組を以下のパターンで繰り返し予約録画するように設定できます。

- **しない**
- **毎週**
- **月ー金**
- **月ー土**
- **毎日**

7 **▲/▼ で［予約を登録する］を選び、中央を押す**

◇ **番組表を消すには**
[MENU] を押してください。

電源を切っても予約時刻になると録画が開始されます。電源を切る場合、本体とアンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

録画の予約をすると

画面右下に［🕘］が表示されます。

- 録画の予約をしている場合でも、[今すぐ録画する］での録画中は表示されません。

お知らせ

- 番組表にまだ表示されていない番組は、日時を指定して予約録画してください。（P29）
- 開始時刻が未定の番組は、録画を予約することができません。
- 終了時刻が未定の番組は、現在視聴中の番組のみ予約可能で、次番組以降は予約できません。
- 終了時刻が未定の番組は、開始時刻の 8 時間後を終了時刻として録画を予約しますが、番組が 8 時間以内に終了すると、録画も連動して停止します。

■ 番組追従機能

本機は、「番組表から予約録画」した場合に、スポーツ番組などの番組延長で放送時間が変わっても、延長時間分を自動的に変更することに対応しています。

（お知らせ）

- **番組追従機能は放送局から送られてくる番組情報に基づいて働いています。送られてくる情報、情報を受けるタイミング、電波の受信レベルによっては正しく番組追従できないことがあります。**
  また、以下の場合は番組追従機能に対応できません。
  - 日時指定予約で録画した場合
  - 番組表で予約したあと、予約の日時やチャンネルを変更した場合
  - 番組表情報に放送時間の変更がない場合
  - 予約番組の放送開始時刻が予約録画開始時刻よりも早くなった場合
  - 開始時刻が繰り下げになった番組を番組表から［毎週予約］で予約した場合

  例：通常 21 時～ 22 時に放送される番組が、前の番組が延長になったことで 30 分繰り下げられ、番組表で 21 時 30 分～ 22 時 30 分になっている場合、その番組を［毎週予約］で予約すると次回以降も 21 時 30 分から録画を開始します。このような場合、次回の録画開始前に番組表から再度予約登録してください。

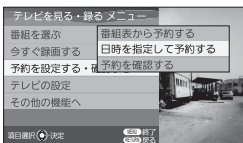
  - 予約録画の開始（終了）前までに開始（終了）時刻変更の情報を受信しなかった場合
  - ［毎週予約］を設定した場合、予約時と放送時で番組名が異なる場合
- 番組追従機能が働いて他の予約番組と重複した場合は、先に放送を開始した番組を優先的に録画します。

日時を指定して予約録画する（日時指定予約）

- （カードに録画する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［テレビを見る・録る］モードにしておく（P18）
- 録画先メモリーを選択しておく（P23）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［予約を設定する・確認する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［日時を指定して予約する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で予約内容を選ぶ

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

- 録画日は 30 日先までの間で指定することができます。

◇ 毎週予約
選んだ番組を以下のパターンで繰り返し予約録画するように設定できます。

- しない
- 毎週
- 月ー金
- 月ー土
- 毎日

5 ▲/▼ で［予約を登録する］を選び、中央を押す

- 登録が終わると、予約一覧画面になります。

◇ 予約一覧画面を消すには
[MENU] を押してください。

電源を切っても予約時刻になると録画が開始されます。電源を切る場合、本体とアンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

録画の予約をすると

画面右下に［🕘］が表示されます。

- 録画の予約をしている場合でも、[今すぐ録画する］での録画中は表示されません。

7. 録画時のお知らせ

録画番組数※	最大 99 番組
予約番組数	最大 12 番組
連続録画時間	最大約 8 時間 (AC アダプター使用時)

※ SD カードの場合はカード 1 枚あたりの録画番組数です。

- 録画時は AC アダプターの使用をおすすめします。内蔵電池のみで使用時は、最大連続録画時間や予約番組数に関係なく、電池残量内（P84）の録画となります。

☞ 録画可能時間について：P85

以下の場合は録画できません。

- 録画に十分な録画可能時間が残っていない
- 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている
- 電池残量表示が赤色になっているときや、電池残量がなくなった場合
- 写真のコピー処理中や編集中の場合
- USB 接続している場合

予約録画開始時刻や録画中に上記の状態になると、予約録画はキャンセルされます。

以下の場合は録画が正しく行われません。

- 電波状況が悪い場合
- 予約録画の時間が重なっている場合

録画中は以下の操作はできません。

- 録画番組以外の番組を視聴
- 番組表の閲覧 / チャンネル一覧の表示
- 音声の設定を変更
- 録画先メモリー選択
- 他のモードに変更
- チャンネル設定
- ホーム←→おでかけの切り換え
- 予約録画 / 予約確認
- 初期設定の変更

■ 予約録画時間が重なっている場合は

予約時に、他の予約録画と重なっている場合は、確認画面が表示されます。◀/▶ で［はい］か［いいえ］を選び、中央を押してください。

◇ 重複した場合の録画内容

- 録画開始時刻が同じときは後から予約した番組を録画します。

（先に予約した番組）

予約番組 A

予約番組 B

録画できない時間

（後に予約した番組）

- 録画開始時刻の番組を録画終了時刻まで録画したあと、すでに開始時刻を過ぎている番組を途中から録画します。

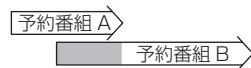
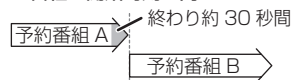
予約番組 A

予約番組 B

◇ 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じとき

終わり約 30 秒間

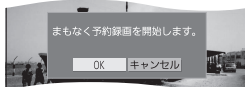
予約番組 A

予約番組 B

次の予約録画の準備のため、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。

■ 予約録画の開始時刻になると

予約録画すると、電源を切った状態でも録画が始まります。
また、録画中に [POWER ⏻/I] を押して、液晶モニターを点灯させたり消灯させたりすることができます。液晶モニターを消しても録画は継続されます。

◇ 予約録画 1 分前になると

- 動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。
- 電源が入っている場合は、下のお知らせ画面が 10 秒間表示されます。

◀/▶ で［OK］を選び、中央を押してください。

- 予約録画するチャンネルに切り換わります。
- 予約録画をやめる場合は、◀/▶ で［キャンセル］を選び、中央を押してください。
- ［OK］/［キャンセル］を選ばなかった場合でも、予約録画は実行されます。

◇ お知らせ画面が消えたあとは

画面左下に **準備中** が表示されます。電源ボタンと音量ボタン以外のボタン操作はできません。
予約をキャンセルしたい場合は、録画が始まってから録画を停止してください。

- ［今すぐ録画する］での録画中に予約録画開始時刻になった場合は、録画を停止（P25）しないと予約録画が開始されません。

◇ 予約録画が始まると

画面左下に **録画中** が表示され、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

- 録画終了後は、録画開始前に視聴していたチャンネルに切り換わります。

◇ 予約録画中に録画を停止する場合
1 [MENU] を押す
2 ▲/▼ で［予約録画をキャンセルする］を選び、中央を押す

■ 本機の時計について

本機はテレビ放送を受信すると、自動的に時計が設定されます。手動で設定することはできません。

- 時計は、予約録画や予約録画の確認画面のときのみ表示されます。
- 本機の時計はワンセグ放送にあわせて設定されます。標準時刻とは若干ずれますが、予約録画に影響はありません。

■ 録画中の電波状況が悪くなると

録画が一時中断になり、
録画中断(電波不安定) が画面左下に表示されます。電波状態が回復すると、表示が消えて録画を再開します。
このような状況で録画されたビデオファイルを再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。

■ 99 番組まで録画できない場合は

- 番組数はビデオファイルの管理情報に基づいて管理しています。他の機器やパソコンでビデオファイルの消去やフォーマットを行うと、管理情報が残るため、99 番組まで録画できなくなる場合があります。
（[エラー発生のため録画を中止します。］と表示されます。）
- 管理情報を消去するには、本機で内蔵メモリーや SD カードをフォーマット（P70）する必要があります。
(SD-Jukebox でフォーマットしても、管理情報は消去されます。）

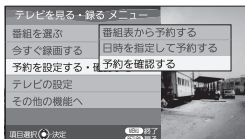
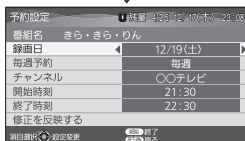
8. 予約録画を確認 / 変更 / 取り消しする

• [テレビを見る・録る] モードにしておく（P18）

■ 予約録画内容を確認する / 変更する

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で［予約を設定する・確認する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［予約を確認する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で確認または変更したい番組を選び、中央を押す

確認して、変更がなければ [MENU] を押して確認画面を終了してください。

◇ 予約を変更する場合

5 ▲/▼ で変更したい項目を選ぶ

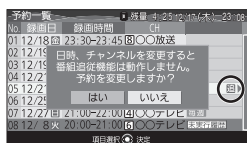
6 ◀/▶ で変更する

7 ▲/▼ で［修正を反映する］を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには

[MENU] を押してください。

◇ 予約一覧画面で［追］のある番組の予約内容を確認 / 変更する場合

［追］のある番組は番組表から予約しているので、番組追従機能（P28）に対応しています。この番組の予約の日時やチャンネルを変更すると、番組追従に対応できなくなります。確認 / 変更する場合は、右の画面で ◀/▶ を押して [はい] を選び、中央を押してください。

■予約録画を取り消す

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［予約を設定する・確認する］を選び、中央を押す

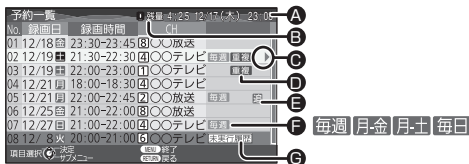
3 ▲/▼ で［予約を確認する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で取り消したい番組を選び、▶ を押す

5 ［予約を取り消す］を選び、十字キー中央を押す

6 ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには
[MENU] を押してください。

■予約一覧画面

- **Ⓐ 現在の日時**
- **Ⓑ 録画可能時間の目安**
  （内蔵メモリー / SD カード / microSD カード）
  例）残量 1：30　内蔵メモリーの残量が 1 時間 30 分です。
- **Ⓒ 取り消し / 消去メニューを表示**
  ▶ を押すと、サブメニューを表示し、予約の取り消しや未実行履歴の消去ができます。
- **Ⓓ 予約録画が重複している場合（P30）**
- **Ⓔ 番組表から予約した番組（P26）**
- **Ⓕ 毎週予約の設定がされている場合**
- **Ⓖ 予約録画の実行時に、録画時間の全部または一部が録画されなかった場合**
  未実行履歴 の番組を選び、中央を押すと、録画されなかった理由が 1 分間表示されます。
  - 未実行履歴 の番組は最大 4 件まで表示されます。4 件を超えると、古いものから自動的に消去されます。

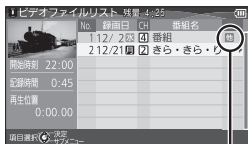
1. 録画した番組を見る

本機で再生できるビデオファイルについては 36 ページをお読みください。

- （カードの録画を見る場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- 再生メモリーを切り換えておく（下記※ 1）

1 [MODE] を押す

2 ▲/▼ で［ビデオを見る］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で見たい録画番組を選び、中央を押す

※2

録画した番組を再生します。番組情報（P35）はしばらくすると消えます。

- 録画日が不明な場合、ビデオファイルリスト画面で［------------］が表示されます。

音量の調整
[−][＋] を押す
▶/❚❚ 再生 / 一時停止
十字キー中央を押す
■ 停止する
▼ を押す
⏮/⏭ スキップ / サーチ(早送り / 早戻し)
◀/▶ を押す（スキップ） ◀/▶ を押したままにする（サーチ）

☞ スキップする間隔を設定する：P39

※ 1 再生メモリーの切り換えについて

1 ［MENU］を押す
2 ▲/▼ で［再生メモリー切換え］を選び、中央を押す
3 ▲/▼で［内蔵メモリー］、[SDカード］または［microSD カード］を選び、中央を押す

オートパワーオフ

節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。SD カードの場合、停止位置の情報は SD カードに記録されるため、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている場合（P11）は、レジュームされません。

◇ 番組の先頭から再生させるときは

1 手順❸のビデオファイルリスト画面で、▶ を押す
2 ▲/▼ で[先頭から再生する]を選び、中央を押す

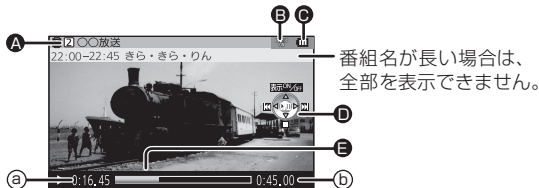
お知らせ

※2 録画した機器によってはアイコンを表示します。（SV-MC75、SV-MC55、SV-ME850V や SV-ME750 で録画した場合は表示しません。）

- 一時停止した状態でスキップやサーチをした場合、指を離すと自動的に再生が始まります。

■ 番組情報表示を切り換えるには

録画した番組を視聴中に十字キーの▲を押すと録画した番組の放送局名や番組名などの表示 / 非表示を切り換えることができます。▲を押すたびに表示が変わります。

・電池残量少のとき、［ ］が表示されます。（P15）［ ］は消せません。

Ⓐ **選択したチャンネル**

Ⓑ **：［小声を大きくする］を設定時（P68）**

Ⓒ **：電池残量表示（P15） ：AC アダプター使用時**

Ⓓ **十字キーの操作ガイド**

・対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。

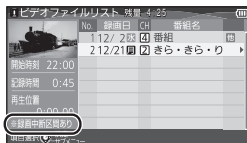
Ⓔ **プログレスバー**　**常時表示させるには：P39**

・再生経過時間をバーで表示します。（ⓐ：再生経過時間　ⓑ：記録時間）

・録画番組にチャプターマーク（P36）があるときは、プログレスバー上に黄色の縦線が表示されます。

・プログレスバーを表示中は、タイマー設定表示［ ］［オフタイマー］や予約番組があることを示す表示［ ］はされません。

■ 録画途中に電波状況が悪い状態があった場合

録画中に、電波状況が悪かったビデオファイルは、画面左下に［※録画中断区間あり］と表示されます。再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。途中に録画されなかった区間があった場合でも、記録時間の表示は、この区間を含めたものになります。

2. 本機で再生できるビデオファイル

以下の当社製機器で録画したビデオファイルを本機で再生することができます。他社製品などこれら以外の機器で録画した番組を本機で再生することは保証していません。

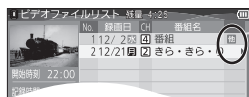
（2009 年 9 月現在）

商品名	品番
ポータブルテレビ	SV-MC75※、SV-MC55※、SV-ME850V※、SV-ME750※ など
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW970、DMR-BW870、DMR-BW770、DMR-BW570、DMR-BR670V、DMR-BR570 など
DVD レコーダー	DMR-XP25V、DMR-XP15
テレビ	TH-P50R1、TH-P46R1、TH-P42R1、TH-L37R1、TH-L32R1、TH-L20R1、TH-L17R1

上記以外の機器については下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

- **上記レコーダー / テレビで録画したファイルを本機で再生することはできますが、本機で録画したビデオファイルを上記レコーダー / テレビで再生することはできません。**

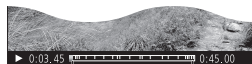
ビデオファイルリスト画面の右端に録画した機器をアイコンで表示します。

表示なし： 上記※の機器で録画したファイル
他： ※以外の機器で録画した場合

■ 上記レコーダー / テレビで録画すると

チャプターマークに対応

レコーダー / テレビで作成されたチャプターマークは本機にも引き継がれるので、スキップ操作で見たい場面を探すことができます。

チャプターマーク

この場合、［スキップ間隔設定］を［オフ］に設定してください。（P39）［オフ］以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップしません。

レジューム機能

レコーダー / テレビで録画した番組をレコーダー / テレビの HDD から SD カードにダビングして本機で再生すると、レコーダー / テレビで見ていた続きから再生されます。

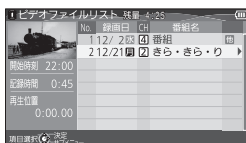
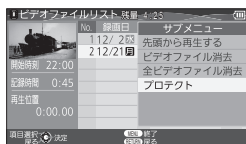
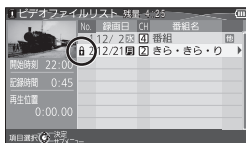
お知らせ

- レコーダー / テレビで編集などを行った場合は、チャプターマークが引き継がれなかったり、レジューム機能が働かない場合があります。
- チャプターマークやレジューム位置は多少ずれる場合があります。
- レコーダー / テレビでの録画、ダビングやチャプターマークの作成についてはレコーダー / テレビの取扱説明書をお読みください。
- 付属の USB 接続ケーブルを使って USB 端子付きレコーダーとダビングする場合の接続方法は、パソコンと接続する操作と同様です。65 ページの「パソコン」を「レコーダー」に読み換えて接続してください。

3. 録画した番組を保護（プロテクト）する

誤って消去しないように、録画した番組を保護（プロテクト）できます。
保護していても、内蔵メモリーや SD/microSD カードをフォーマットした場合は消去されます。

- （カードの録画を保護する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［ビデオを見る］モードにしておく（P34）
- 再生メモリーを切り換えておく（P34）
- 再生している場合は停止しておく

1 ▲/▼ で保護する録画番組を選び、▶ を押す

2 ▲/▼ で［プロテクト］を選び、中央を押す

プロテクトした番組は、ビデオファイルリスト画面で［🔒］が表示されます。

■ 解除する場合

1 手順❶の画面で、▲/▼ を押して［🔒］表示のある番組を選び、▶ を押す
2 ▲/▼ で［プロテクト解除］を選び、中央を押す

ビデオを見る

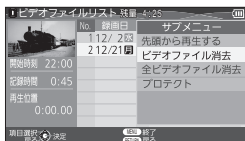
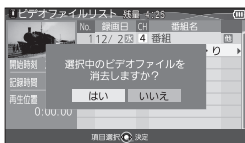
お知らせ

- 電池残量表示が赤色になっているときは、プロテクト / プロテクト解除できません。

4. 録画した番組を消去する

- （カードの録画を消去する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［ビデオを見る］モードにしておく（P34）
- 再生メモリーを切り換えておく（P34）
- 再生している場合は停止しておく

1 **▲/▼ で消去する録画番組を選び、▶ を押す**

2 **▲/▼ で［ビデオファイル消去］または［全ビデオファイル消去］を選び、中央を押す**

3 **◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す**

画面例は［ビデオファイル消去］を選んだ場合

■ 消去後の録画可能時間について

録画可能時間

放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を消去した場合は、消去した番組の録画時間に対して、増加する録画可能時間が少なくなります。

例：1 時間のビデオファイルを消去したにもかかわらず、録画可能時間の表示が 45 分程度しか増えないなど（時間の差は録画した番組の情報量によって変わります。）

お知らせ

- ［プロテクト］設定されたビデオファイルは消去できません。
- ［全ビデオファイル消去］を選んだ場合、消去中に [RETURN] を押すと消去を中止します。（中止するまでに消去された番組は元に戻すことはできません。）
- 電池残量表示が赤色になっているときは、消去できません。
- 本機でビデオファイルの消去を行ってください。他の機器などでビデオファイルの消去やフォーマットを行うと、99 番組まで録画できなくなる場合があります。（P31）

5. ビデオの再生設定

• [ビデオを見る] モードにしておく (P34)

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で [ビデオの再生設定] を選び、中央を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で設定する

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

◇ **メニュー画面を消すには**
[MENU] を押してください。

●お買い上げ時の設定

字幕

字幕放送に対応した番組を再生している場合に、字幕を表示して視聴できます。

● **非表示**　○ **言語 1**　○ **言語 2**

• [言語 1] や [言語 2] に設定しても、対応する字幕情報がない場合、字幕は表示されません。

二重音声

二重音声に対応した番組を再生している場合に、二重音声を切り換えて視聴できます。

● **主**　○ **副**　○ **主+副**

• 二重音声に対応していない場合、主音声での視聴になります。

プログレスバー表示

再生の経過時間を示すプログレスバーを画面下に表示することができます。

● **非表示**
プログレスバーはしばらくすると消灯します。

○ **表示**
プログレスバーを常に表示します。

画面オフ設定

画面を消して、音声だけを楽しむことができます。

● **常時画面オン**
○ **HOLD 時画面オフ**

• [HOLD 時画面オフ] を選び、ホールド状態にすると画面が消えます。画面を再びオンにするには、ホールドを解除してください。
• 表示画面が消えている間は、動作表示ランプ (P8) が点滅します。

スキップ間隔設定

ビデオ再生中に、◀/▶ を押してとび越す間隔を設定できます。

● **オフ**
○ **30 秒**　○ **10 分**　○ **30 分**

• レコーダーで録画したファイルの場合、チャプターマーク単位でスキップさせるときは [オフ] に設定してください。[オフ] 以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップできません。

お知らせ

• [字幕] [二重音声] [画面オフ設定] の設定は、[テレビを見る・録る] モードの [テレビの設定] の設定と共通です。

1. 内蔵メモリーに写真を取り込む（コピー）

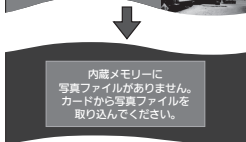
本機では、内蔵メモリーに写真を取り込んで再生することができます。（今すぐSD/microSD カード内の写真を見る場合は、42 ページをお読みください。）
・お買い上げ時の内蔵メモリーには写真が保存されていません。

おまかせで取り込む（SD カード→内蔵メモリー）

• 写真を記録した SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）

■ 本書での十字キー操作の表現
例：▲ で選び、中央を押す
上を押す　中央を押す

1 ［MODE］を押す

2 ▲/▼ で［写真を見る］を選び、中央を押す

3 ［MENU］を押す

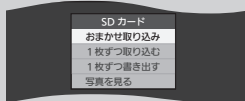
4 ▲/▼ で［写真をコピーする］を選び、中央を押す

5 ▲/▼ で［おまかせ取り込み］を選び、中央を押す

6 ◀/▶ でコピー元のカードを選び、中央を押す

・取り込みに時間がかかる場合があります。
・おまかせ取り込み完了後は、取り込み前に見ていた写真画面に戻ります。

■ ポップアップメニューを使う

［写真を見る］モードのときに、SD/microSD カードを挿入すると、下記のメニューが表示されます。▲/▼ で選んで中央を押すと、それぞれの写真メニュー操作に入れます。

[RETURN] を押すと表示が消えます。

お知らせ

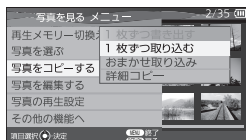
・おまかせ取り込みの情報※が本機内に残るので一度取り込んだことのある写真は重複して取り込まれません。取り込んだ写真を消去した場合でも同じ写真を取り込むことはできません。同じ写真をもう一度取り込む場合は［1 枚ずつ取り込む］（P41）または［詳細コピー］（P51）で行ってください。
※ 情報は 10000 枚分保持され、それ以上になると古い情報から消去されます。
・コピー処理中に、［RETURN］を押すとコピーが中止されます。ボタンを押した以降の写真はコピーされません。

1 枚ずつ取り込む（SD カード→内蔵メモリー）

- 写真を記録した SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを SD/microSD カードに切り換えておく（下記※）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真をコピーする］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［1 枚ずつ取り込む］を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

5 写真がシングル表示されたら、十字キー中央を押す

6 ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

◇コピーを終了するには
[RETURN] を押してください。

※ 再生メモリーの切り換えについて
1 [MENU] を押す
2 ▲/▼ で［再生メモリー切換え］を選び、中央を押す
3 ▲/▼ で［内蔵メモリー］、[SD カード］または［microSD カード］を選び、中央を押す

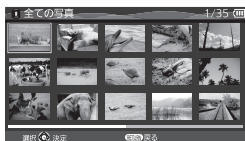
定期的に保存（バックアップ）をする
静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないように、パソコン（P65）や SD カード（P52）への定期的なバックアップをおすすめします。

- 当社製デジタルカメラなどの写真にプロテクトやお気に入り登録されている情報があっても、本機にこれらの情報は引き継がれません。
- 予約録画やオフタイマーを設定している場合、開始時刻になっても、コピーが終了するまでは、開始されません。終了後、確認画面が表示されます。

2. 写真を見る・順番に再生する（スライドショー）

内蔵メモリーに取り込んだ写真や、SD カードの写真を表示します。本機は、写真を1 枚だけ表示するシングル表示と、順番に再生していくスライドショーがあります。

- （カードの写真を見る場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを切り換えておく（P41）

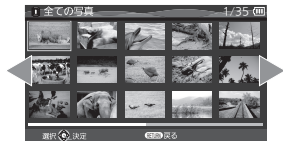
写真を選んで見る

▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押すと写真がシングル表示されます。

十字キー中央をもう一度押すと、写真が順番に再生されます。シングル表示画面でも ◀/▶ を押して写真を選べます。

◇ **停止する（シングル表示）**
▼ または中央を押す
・再度、中央を押すと再生します。

◇ **スキップする（戻る / 送る）**
再生中に、◀/▶ を押す

スクロールで写真を選ぶ

◇ **写真一覧画面でスクロール**※
写真一覧画面で ◀/▶ を押したままにすると一覧画面でスクロールされます。
・指を離すと、スクロールが停止します。

◇ **シングル表示画面でスクロール**
シングル表示画面で ◀/▶ を押したままにすると、下の画面でスクロールします。
・指を離して、中央で停止した写真が表示されます。

※「スクロール」とは、一度に表示できない場合などに、順番に流れるように表示する機能です。

お知らせ

・SD/microSD カードを挿入すると右のポップアップメニューが表示されます。40 ページの「ポップアップメニューを使う」をお読みください。

■ 写真情報表示を切り換えるには

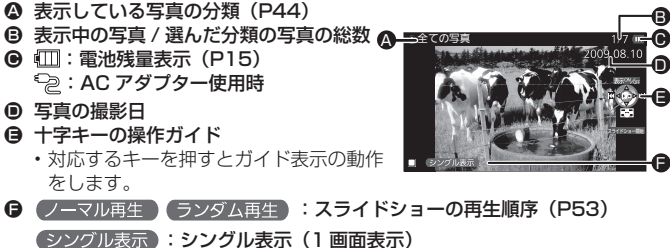
写真を再生中やシングル表示中に十字キーの ▲ を押すと十字キー操作ガイドなどの表示 / 非表示を切り換えることができます。▲ を押すたびに表示が変わります。

▲ を押さなくても、5 秒経過すると
自動的に③の画面に変わります。

- 電池残量少のとき、[ ] が表示されます。(P15) [ ] は消せません。

Ⓐ 表示している写真の分類（P44）
Ⓑ 表示中の写真 / 選んだ分類の写真の総数
Ⓒ ：電池残量表示（P15）
**　：AC アダプター使用時**
Ⓓ 写真の撮影日
Ⓔ 十字キーの操作ガイド
- 対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。

Ⓕ ノーマル再生 ランダム再生 **：スライドショーの再生順序（P53）**
シングル表示 **：シングル表示（1 画面表示）**

全ての写真　1/7　2009.08.10　表示ON/OFF　スライドショー開始　シングル表示

お知らせ

- 再生中に [RETURN] を押すと停止してシングル表示になります。
- シングル表示中に [RETURN] を押して写真一覧画面を表示することもできます。
- スライドショーでは、44 ページで選んだ分類のすべての写真を繰り返し再生します。
- 再生中やシングル表示中にスキップ操作をしたとき、写真のファイルサイズが大きい場合は、写真が切り換わるのに少し時間がかかる場合があります。
- 写真一覧などではサムネイル画像※を表示します。サムネイル画像がないなど、ファイルによって写真一覧などでサムネイル画像が表示できない場合があると、[ ] を表示します。また、写真やカードによっては、スクロールしているときのサムネイル画像が [ ] で表示される場合があります。

※「サムネイル画像」とは、複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

オートパワーオフ
節電のため、写真を再生中やシングル表示以外の画面が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能
再生していたメモリーの最後に選んでいた写真から表示します。

3. 分類された写真を見る

- （カードの写真を見る場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを切り換えておく（P41）

写真は以下の分類別で探すことができます。

全ての写真（お買い上げ時の設定）
内蔵メモリーや SD カード内にある写真をファイル名順に表示します。

最近取り込んだ写真 (P45)
SD カードから内蔵メモリーに取り込んだ最近の写真を取り込み順に最大 100 枚まで表示します。
- パソコンから直接取り込んだ写真は最近取り込んだ写真には分類されません。

日付検索（P45）
内蔵メモリーや SD カード内にある写真を日付別に選べます。

フォルダ検索（P46）
内蔵メモリーや SD カード内のフォルダを指定して、そのフォルダ内の写真を表示します。

お気に入りの写真
お気に入り 1、お気に入り 2、お気に入り 3、LUMIX のお気に入り
（写真がある場合のみ表示）
- 内蔵メモリーに登録したお気に入りの写真や、当社製デジタルカメラ LUMIX やポータブルテレビで登録した SD カードのお気に入りの写真を表示します。
- 本機でのお気に入り登録や表示のしかたは、48 ～ 49 ページをお読みください。

■ すべての写真を見る

選んでいる再生メモリーのすべての写真を表示します。

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［全ての写真］を選び、中央を押す

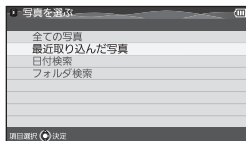
4 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

■ 最近取り込んだ写真を見る

• 内蔵メモリーに取り込んだ写真を見ることができます。

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［最近取り込んだ写真］を選び、中央を押す

• SD/microSD カードの場合は、［最近取り込んだ写真］は表示されません。

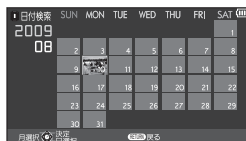
4 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

■ 日付別に写真を見る

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［日付検索］を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ を押して日付を選び、中央を押す

月を選ぶ： ▲/▼ を押す
日を選ぶ： ◀/▶ を押す

• 写真が 1 枚もない月は表示されません。

5 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

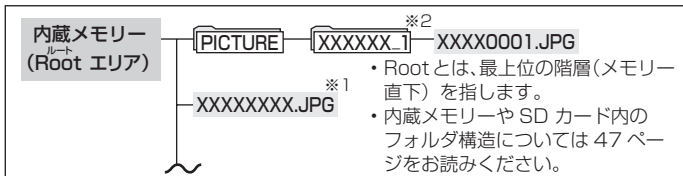
お知らせ

• 日付表示できる範囲は 2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
• 写真ファイルの日付データには、撮影日と更新日があり、日付検索では更新日を利用しています。パソコン編集などで更新日が変更された場合、日付検索で表示される日付と、再生画面等で表示される撮影日が異なります。

3. 分類された写真を見る（つづき）

■ フォルダを選んで写真を見る

本書では、以下のフォルダ構造の場合に写真を選ぶ操作で説明しています。

・Rootとは、最上位の階層（メモリー直下）を指します。
・内蔵メモリーや SD カード内のフォルダ構造については 47 ページをお読みください。

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［フォルダ検索］を選び、中央を押す

Root エリア直下のフォルダが表示されます。

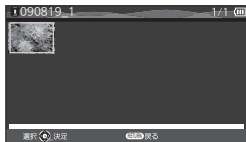
4 ▲/▼ で、フォルダを選び、中央を押す

現在開いているフォルダ

・現在開いているフォルダ内に写真とフォルダがある場合、［このフォルダ内の写真］が表示されます。
※ 1　本例の場合、フォルダ構造説明の［XXXXXXXX.JPG］ファイルを選ぶ場合

・［　］で表示されるフォルダは、さらに下の階層にフォルダが存在します。
※ 2　本例の場合、フォルダ構造説明の［PICTURE］フォルダ内にさらに［XXXXXX_1］フォルダが存在

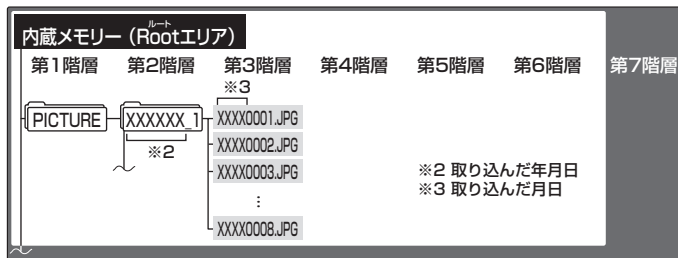
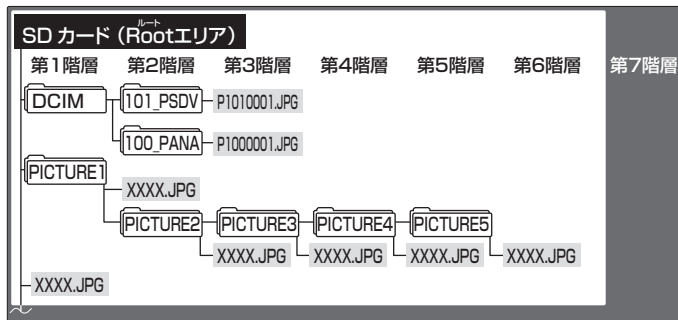
探しているフォルダが見つかるまで手順❹を繰り返してください。

5 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

4. 本機で再生できる写真

ファイル形式： JPEG（JPEG 形式でも再生できないものがあります。）
画素数： 最大 5120 × 3840
最小 64 × 64
最大ファイルサイズ：10 MB
最大フォルダ数： 1000 フォルダ※ 1
最大ファイル数： 40000 ファイル※ 1

※ 1 ファイルやフォルダは取り込んだ日付に応じた名称で作成されます。同じ日に取り込めるファイル数は 9000 ファイル、作成されるフォルダ数は 9 フォルダまでです。（1000 ファイル× 9 フォルダ）

再生対象になる写真のフォルダ構造

内蔵メモリーや SD カードの 6 階層目までにあるファイルを再生できます。

• SD カードから内蔵メモリーに写真を取り込んでもフォルダ名やファイル名は引き継がれません。取り込んだ日付に応じた名称で作成されます。SD カード内のフォルダやファイルを、内蔵メモリーに取り込むと、フォルダ名とファイル名は上の図のようになります。（上記構造例の場合）

5. 編集する

- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを［内蔵メモリー］に切り換えておく（P41）
- 編集する対象となる分類を選んでおく（P44）
- スライドショーを再生している場合は停止しておく（P42）

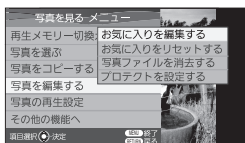
写真をお気に入り登録する

写真をお気に入り登録しておくと、登録した写真だけを順番に再生したり（スライドショー）、写真を探しやすくすることができます。
［お気に入り 1］［お気に入り 2］［お気に入り 3］の 3 つに分けて登録できます。

- **お気に入りに登録できるのは、内蔵メモリーの写真のみです。**
- ここでは、［お気に入り 1］を例に説明しています。

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を編集する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［お気に入りを編集する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で［お気に入り 1 を編集する］を選び、中央を押す

5 ▲/▼/◀/▶ で登録する写真を選び、中央を押す

- [MENU] を押して、▲/▼ で［シングル表示］、［全選択］または［全解除］を選ぶことができます。
- 登録した写真には［☆1］が表示されます。もう一度、中央を押すと表示が消え、登録が解除されます。
- 手順❹で［お気に入り 2 を編集する］を選んだ場合は［☆2］、［お気に入り 3 を編集する］を選んだ場合は［☆3］が表示されます。

6 ［MENU］を押して、▲/▼ で［お気に入り編集終了］を選び、中央を押す

お知らせ

- それぞれの［お気に入り］に 999 枚まで写真を登録できます。
- 写真によっては登録できない場合があります。
- 電池残量表示が赤色になっているときは、編集できません。

■ 登録した写真を探して見る

1. [MENU] を押す

2. ▲/▼ で [写真を選ぶ] を選び、中央を押す

3. ▲/▼ で [お気に入り 1] を選び、中央を押す

4. ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

■ 登録をまとめて解除する

お気に入りに登録した写真をすべて解除します。

1. [MENU] を押す

2. ▲/▼ で [写真を編集する] を選び、中央を押す

3. ▲/▼ で [お気に入りをリセットする] を選び、中央を押す

4. ▲/▼ で [お気に入り 1 をリセットする] を選び、中央を押す

5. ◀/▶ で [はい] を選び、中央を押す

- （カードの写真を編集する場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを切り換えておく（P41）
- 編集する対象となる分類を選んでおく（P44）

写真ファイルを消去する

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を編集する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［写真ファイルを消去する］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で［複数選択消去］を選び、中央を押す

5 ▲/▼/◀/▶ で消去する写真を選び、中央を押す

- 選択した写真には［🗑］が表示されます。もう一度、中央を押すと表示が消え、登録が解除されます。
- [MENU] を押して、▲/▼ で［シングル表示］、［全選択］または［全解除］を選ぶことができます。

6 [MENU] を押して、▲/▼ で［消去実行］を選び、中央を押す

7 ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

- 消去中に、［RETURN］を押すと消去が中止されます。ボタンを押す以前の写真は元に戻りません。

■ 1 枚ずつ消去するには

1. 手順❹で、[1 枚選択消去] を選び、中央を押す
2. ▲/▼/◀/▶ で消去する写真を選び、中央を押す
3. 中央を押す
4. ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

◇ **写真ファイル消去を終了するには**
［RETURN］を押してください。

写真ファイルを保護（プロテクト）する

誤って消去しないように、写真を保護（プロテクト）します。保護していても［フォーマット］した場合は消去されます。

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真を編集する］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［プロテクトを設定する］を選び、 中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で保護する写真を選び、中央を押す

- 選択した写真には［🔒］が表示されます。もう一度、中央を押すと表示が消え、登録が解除されます。
- [MENU] を押して、▲/▼ で［シングル表示］、［全選択］または［全解除］を選ぶことができます。

5 [MENU] を押して、▲/▼ で［プロテクト設定終了］を選び、中央を押す

複数の写真を選んでコピー

コピー元・コピー先の設定や、一度に複数選択をしてコピーすることができます。

- SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- コピーする対象となる分類を選んでおく（P44）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真をコピーする］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［詳細コピー］を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で［コピー元］を選び、◀/▶ でメディアを選ぶ

5 ▲/▼ で［コピー先］を選び、◀/▶ でメディアを選ぶ

6 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、中央を押す

7 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

- 選択した写真には［☑］が表示されます。
- ［MENU］を押して、▲/▼ で［シングル表示］、［全選択］または［全解除］を選ぶことができます。

8 ［MENU］を押して、▲/▼ で［コピー実行］を選び、中央を押す

9 ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

◇ **コピーを終了するには**
［RETURN］を押してください。

お知らせ

- SD カードと microSD カード間でコピーできません。ただし、内蔵メモリーに一度取り込んでから、SD カードに書き出すことができます。
- コピー処理中に、［RETURN］を押すとコピーが中止されます。ボタンを押した以降の写真はコピーされません。

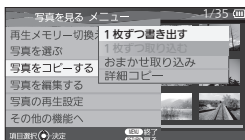
7. 1 枚ずつ書き出す（コピー）（内蔵メモリー → SD カード）

1 枚ずつ写真を選んで書き出す

- SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［写真を見る］モードにしておく（P40）
- 再生メモリーを［内蔵メモリー］に切り換えておく（P41）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［写真をコピーする］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［1 枚ずつ書き出す］を選び、中央を押す

4 ◀/▶ でコピー先のカードを選び、中央を押す

5 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、中央を押す

6 写真がシングル表示されたら、十字キー中央を押す

7 ◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す

◇コピーを終了するには

[RETURN] を押してください。

お知らせ

- 再生できる写真の仕様が機器により異なるため、お使いの機器（携帯電話、デジタルカメラなど）によっては、本機でコピーした写真を再生できない場合があります。
- SD/microSD カードを挿入すると右のポップアップメニューが表示されます。40 ページの「ポップアップメニューを使う」をお読みください。

8. 写真の再生設定

• [写真を見る] モードにしておく (P40)

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で [写真の再生設定] を選び、中央を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で設定する

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

◇ **メニュー画面を消すには**
[MENU] を押してください。

●お買い上げ時の設定

写真回転表示

写真を順番に再生する場合やシングル表示する場合に、本機の置きかたに合わせて写真を回転させます。

○ **オフ**
自動的に回転されません。

● **横置き**
本機を横置きにして見る場合に設定してください。

○ **縦置き**
本機を縦置きにして見る場合に設定してください。

• 撮影した機器によっては、写真を回転できない場合があります。

カラーエフェクト

写真を順番に再生しているときやシングル表示している場合に、写真の色を変更できます。

● **カラー**
○ **白黒**
○ **セピア**

スライドショー順序

● **ノーマル**
写真のフォルダ名 / ファイル名に付与された文字コード順に再生します。

○ **ランダム**
順不同にフォルダが選択され、フォルダ内の写真を順不同に再生します。
– ランダム再生中は、◀ を押して再生し終わった写真へ戻ることはできません。

スライドショー効果

● **フェード**
次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。

○ **モーション**
写真を拡大し、上下、左右、対角方向に動かしながら再生します。

○ **スライドイン**
画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。

スライドショー間隔

○ **短い**
約 1 秒間隔で写真を切り換えます。

● **標準**
約 6 秒間隔で写真を切り換えます。

○ **長い**
約 10 秒間隔で写真を切り換えます。

• 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるのに時間がかかる場合があります。
• [スライドショー効果] を [モーション] に設定しているときは [スライドショー間隔] の設定は反映されません。

スライドショーの BGM 設定

（事前に内蔵メモリーまたは SD/microSD カードに音楽データを記録しておいてください（P56、P62 ～ 65）。）

[BGM]

［オン］に設定すると、写真を再生しているときに、音楽を再生することができます。

○ **オン**
● **オフ**

- ［オン］に設定した場合、写真を停止すると、音楽も停止します。
- ［オン］に設定した場合、写真のスライドショーについては十字キー操作が可能です。音楽のスキップはできません。

[メモリー選択]

［BGM］が［オン］のときのみメモリーを選択できます。

● **内蔵メモリー**
○ **SD カード**
○ **microSD カード**

[曲を選ぶ]

［BGM］が［オン］のときのみ再生する曲を選ぶことができます。

1. **53 ページの手順❸で［スライドショーの BGM 設定］を選び、十字キー中央を押す**
2. **▲/▼ で［曲を選ぶ］を選び、中央を押す**
3. **▲/▼ でプレイリストの種類を選び、中央を押す**
   - ［全曲］、［新曲］、［マイベスト］を選んだ場合は手順 **5** へすすんでください。
   - ［50 音検索］を選んだ場合は 58 ページをお読みください。
4. **▲/▼ でプレイリストを選び、中央を押す**
5. **▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す**

☞ **プレイリストの種類について：P58**

- 選んだプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

1. 音楽を聴く

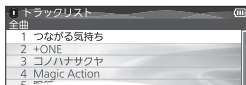
内蔵メモリーや SD/microSD カードの音楽データを本機で再生することができます。

- （内蔵メモリーの音楽を聴く場合）内蔵メモリーに音楽データを記録しておく（P62 ～ 65）
- （カードの音楽を聴く場合）SD/microSD カードに音楽データを記録しておく（P56）
- 再生メモリーを切り換えておく（下記※）

■ 本書での十字キー操作の表現
例：▲ で選び、中央を押す
上を押す　　中央を押す

1 ［MODE］を押す

2 ▲/▼ で［音楽を聴く］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す

音楽を再生します。動作表示ランプが約 3 秒間隔で点滅します。
- しばらくすると液晶モニターが省電力のため消灯します。表示を確認するには電源ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

※ 再生メモリーの切り換えについて
1 ［MENU］を押す
2 ▲/▼ で［再生メモリー切換え］を選び、中央を押す
3 ▲/▼ で、［内蔵メモリー］、［SD カード］または［microSD カード］を選び、中央を押す

☞ 液晶モニターを点灯したままにするには（省電力設定）：P60

音量の調整
[−][＋] を押す

▶/❚❚ 再生 / 一時停止
中央を押す

■ 停止する
▼ を押す

▶▶❘ スキップする
▶ を押す

❘◀◀ 曲の先頭へ戻る
◀ を押す • もう 1 度 ◀ を押すと前の曲へ戻ります。

❘◀◀/▶▶❘ 早送り / 早戻し（サーチ）
再生中に ◀/▶ を押したままにする • 一時停止中に押したままにすると、連続してスキップします。

オートパワーオフ
節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能
前回停止したところから再生します。
- 音楽の記録情報が変更されると解除されます。

お知らせ

- 音楽再生中に [RETURN] を押してトラックリスト（手順❸の画面）を表示することもできます。
- 本機で音楽の消去はできません。SD-Jukebox やステレオシステムなどで消去してください。

■ 音楽を内蔵メモリーや SD カードに記録するには

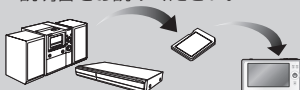
本機で音楽再生するには、音楽を以下のいずれかの方法で記録してください。

付属の CD-ROM（SD-Jukebox）をパソコンにインストールして、SD-Jukebox を使って転送

☞インストールする：P62
転送する：P65

対応メモリー：内蔵メモリー /SD カード

当社製ステレオシステムなど、SD オーディオ規格準拠の機器で記録した SD カードを本機へ

• 詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

対応メモリー：SD カード

当社製 SD オーディオ規格準拠の機器　（2009 年 9 月現在）

商品名	品番
コンパクトステレオシステム	SC-HC7、SC-HC5、SC-HC4
SD ステレオシステム	SC-SX950、SC-SX850、SC-SX800、SC-SX450、SC-SX400、SC-PM870SD、SC-PM770SD、SC-PM730SD、SC-PM710SD、SC-PM670SD、SC-PM930DVD、SC-PM910DVD、SC-NS570SD、SC-NS550SD
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW970、DMR-BW950、DMR-BW930、DMR-BW900、DMR-BW870、DMR-BW850、DMR-BW830、DMR-BW800、DMR-BW770、DMR-BW750、DMR-BW730、DMR-BW700、DMR-BW200
DVD レコーダー	DMR-XW320、DMR-XW300、DMR-XW200V、DMR-XW120、DMR-XW100、DMR-XW51、DMR-XW50、DMR-XW41V、DMR-XW40V、DMR-XW31、DMR-XW30

以下の音楽データを内蔵メモリーや SD カードに記録しても本機では再生できません。

• WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで直接転送した音楽データ
• 他社製の SD オーディオ規格に準拠していないミニコンポなどで記録した音楽データ
• 携帯電話の音楽配信サイトよりダウンロードした、SD オーディオ規格に準拠していない音楽データ

お知らせ

• SD カードに記録された音楽データは、内蔵メモリーに転送できません。また、内蔵メモリーから SD カードにも転送できません。

■ プレイリストから曲を探して聴く

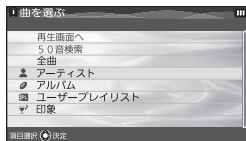
SD-Jukebox やステレオシステムなどで音楽を記録すると、プレイリストというアーティスト名やアルバム名ごとに分類されるリストを作ることができます。
これらのプレイリストから聴きたい曲を選んで聴くことができます。

- 本書では、［アーティスト］プレイリストから曲を探す操作を説明しています。［アーティスト］以外のプレイリストから選曲する場合も同様に操作してください。プレイリストの種類については 58 ページをお読みください。

- **（内蔵メモリーの音楽を聴く場合）内蔵メモリーに音楽データを記録しておく（P62 ～ 65）**
- **（カードの音楽を聴く場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）**
- **［音楽を聴く］モードにしておく（P55）**
- **再生メモリーを切り換えておく（P55）**

1 ［MENU］を押す

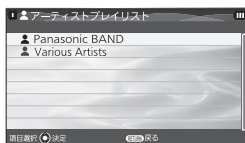
2 ▲/▼ で［曲を選ぶ］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［アーティスト］を選び、中央を押す

◇ 上の画面時に［再生画面へ］を選んだ場合

音楽再生の画面に移り音楽を再生します。

再生中：再生画面へ戻り再生を継続します。

停止中：再生画面へ戻りレジューム位置から再生します。

4 ▲/▼ でプレイリストを選び、中央を押す

5 ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す

お知らせ

- プレイリストに分類されていない曲は、アーティストやアルバムなどのプレイリストから曲を探すことができません。［全曲］から曲を選んでください。
- プレイリストの作成方法は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）やステレオシステムなどの取扱説明書をお読みください。

1. 音楽を聴く（つづき）

プレイリストの種類

50 音検索
プレイリストを 50 音から検索して選べます。

全曲（お買い上げ時の設定）
すべての曲から選べます。

新曲
（プレイリストがある場合のみ表示）
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。

マイベスト
（プレイリストがある場合のみ表示）
当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

アーティスト
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

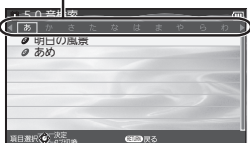
ユーザープレイリスト
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでお客様が作成されたプレイリストから選べます。

印象
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどで印象に分類されたプレイリストから選べます。
：ウキウキ系
：癒し系
：ゆったり系
：その他の印象プレイリスト

■ ［50 音検索］から選曲する

1　57 ページの手順❸で ▲/▼ を押して［50 音検索］を選び、中央を押す

2　▲/▼/◀/▶ でプレイリストを選び、中央を押す

行タブを選ぶ： ◀/▶ を押す
プレイリストを選ぶ： ▲/▼ を押す

- 行タブは、あかさたな（ひらがな）…→ ABC（アルファベット）…→ etc.(数字など)の順で表示されます。
- プレイリストが作成されていない行はとび越します。

3　▲/▼ で再生したい曲を選び、中央を押す

お知らせ

- 50 音検索機能は、プレイリストに基づいた検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

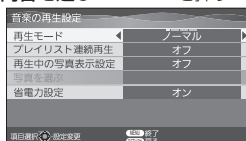
2. リピートなどの再生設定をする

• [音楽を聴く] モードにしておく (P55)

1 [MENU] を押す

2 ▲/▼ で [音楽の再生設定] を選び、中央を押す

3 ▲/▼/◀/▶ で設定する

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

◇ **メニュー画面を消すには**
[MENU] を押してください。

●お買い上げ時の設定

再生モード

● **ノーマル**
選択したプレイリスト内の曲を再生

○ **1 曲リピート**
1 曲を繰り返し再生

○ **全曲リピート**
選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生

○ **ランダム**
選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生

○ **ランダムリピート**
選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に繰り返し再生

○ **ザッピング**
選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分約 20 秒間を順に繰り返し再生
– サビ情報が含まれていない場合は、曲の先頭部分が約 20 秒間再生されます。
– ザッピング中は、早戻し、早送りできません。

○ **イントロ**
選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に繰り返し再生

お知らせ

• [ザッピング] [イントロ] に設定時、モードを切り換えたり、電源を切ると再生モードは [ノーマル] になります。
• ザッピング再生中やイントロ再生中に中央を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。
• ランダム再生中は、◀ を押して再生し終わった曲へ戻ることはできません。

2. リピートなどの再生設定をする（つづき）

プレイリスト連続再生

● **オフ**
選択したプレイリスト内の曲のみを再生

○ **オン**
アーティスト、アルバム、ユーザープレイリスト内のプレイリストをまたいで再生
– ［ランダム］［ランダムリピート］に設定していても、プレイリストは順不同に選択されません。

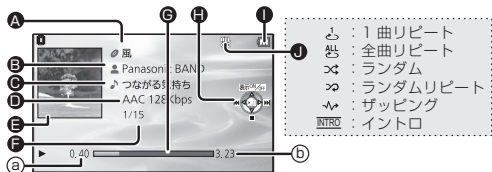
省電力設定

○ **オフ**
液晶モニターを点灯したままにします。

● **オン**
再生中に本機を約 10 秒以上操作しないでいると情報画面が消灯して、電池の消耗を抑えます。
– 電源ボタン以外のいずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
– イントロ再生時や、10 秒以下の曲を連続で再生している場合、液晶モニターは消灯しません。

■ 再生中の情報画面

風
Panasonic BAND
つながる気持ち
AAC 128kbps
1/15
0.40
3.23

1：1 曲リピート
ALL：全曲リピート
：ランダム
：ランダムリピート
：ザッピング
INTRO：イントロ

Ⓐ アルバム名
Ⓑ アーティスト名
Ⓒ 曲名
Ⓓ 圧縮 / 伸張方式、ビットレート
Ⓔ ジャケット写真
- 作成方法（静止画の添付）については SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- プレイリストに登録された写真は本機で表示されません。
- 写真が本機に対応※していない場合は、固定の画像が表示されます。
- 1 曲に複数の写真を添付している場合、本機では最初の 1 枚のみが表示されます。

Ⓕ 現在の曲 / 総曲数
Ⓖ プログレスバー（再生経過時間）
ⓐ：再生経過時間　ⓑ：曲時間
Ⓗ 十字キーの操作ガイド
- ガイドは再生後しばらくすると消えます。▲ を押すと表示されます。
- 対応するキーを押したり中央を押すと、ガイド表示の動作をします。

Ⓘ ：電池残量表示（P15）
：AC アダプター使用時
Ⓙ 再生モード（P59）

※ 本機対応　ファイル形式：JPEG
画素数：96 × 96、640 × 480、160 × 120 ～ 1800 × 1200

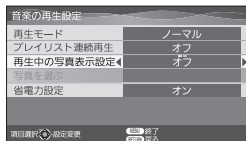
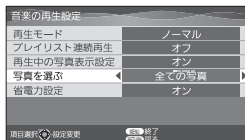
3. 音楽再生時に写真を表示する

音楽再生を始めると、パソコンのスクリーンセーバーのように、内蔵メモリー内の写真を約 6 秒間ずつ順番に表示させることができます。

- 内蔵メモリーに写真を取り込んでおく（P40）
- （内蔵メモリーの音楽を聴く場合）内蔵メモリーに音楽データを記録しておく（P62 ～ 65）
- （カードの音楽を聴く場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- ［音楽を聴く］モードにしておく（P55）

1 ［MENU］を押す

2 ▲/▼ で［音楽の再生設定］を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で［再生中の写真表示設定］を選び、◀/▶ で［オン］を選ぶ

4 ▲/▼ で［写真を選ぶ］を選び、◀/▶ で写真の分類を選ぶ

◇ **メニュー画面を消すには**
[MENU] を押してください。

音楽を再生してしばらくすると写真が順番に表示されます。

■ 写真を表示しないようにする

手順❸で ◀/▶ を押して［オフ］を選ぶ

☞ 再生可能な写真について：P47
☞ 写真の分類について：P44

お知らせ

- ［音楽を聴く］モードでは、SD/microSD カードの写真を表示することはできません。あらかじめ、内蔵メモリーに写真を取り込んでおいてください。
- 音楽を停止 / 一時停止した場合は、写真表示が中断します。
- 写真を表示しているときに、十字キーを操作すると、音楽について動作します。写真をスキップさせたりすることはできません。
- スキップ操作をしたりメニュー操作をした後は、一度、音楽の情報画面に変わります。写真のファイルサイズによっては、写真が再表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 写真の表示間隔を変更したり、回転表示の変更はできません。
- 省電力設定が［オン］に設定されている場合でも写真が表示されます。

4. 音楽記録の準備をする（付属 CD-ROM のインストール）

■ 付属 CD-ROM（SD-Jukebox）の動作環境を確認する

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2、3
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1

	Windows 2000/Windows XP	Windows Vista（32 bit OS）
CPU	Intel® Pentium® Ⅲ 500 MHz 以上	Intel® Pentium® Ⅲ 800 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB以上(1 GB以上を推奨)
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 画面の解像度800×600ピクセル以上(1024×768ピクセル以上を推奨)	
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 • Windows® のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。	
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降	
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス	
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） • IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 • 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。	
インターフェース	USB 端子 • USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。	
その他	インターネット接続環境 (CDDB 機能を利用する場合に必要)（ブロードバンド環境を推奨）	

• 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
• NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
• Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT® および Macintosh には対応していません。
• OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
• マルチブート環境には対応していません。
• システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
• お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
• 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
• ディスクレーベル面に "COMPACT disc DIGITAL AUDIO" のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。

• 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
• パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

※ 付属ソフトウェアの動作環境の詳細については、カタログまたは“http://panasonic.jp/support/software/sdjb/connect/index.html”をご参照ください。

■ 付属 CD-ROM（SD-Jukebox）をパソコンにインストールする

付属の SD-Jukebox Ver.6.95 LE をインストールしてください。
SD-Jukebox Ver.6.95 LE を使うと、音楽に添付したジャケット写真を内蔵メモリーや SD カードに転送することができます。

すでに SD-Jukebox をインストールされている方は
付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、[SD-Jukebox Ver.6.95 LE のインストール] をクリックすると、ファイル消去の確認画面が表示されます。[OK] を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、下記の手順❸から操作してインストールしてください。
• インストールし直しても、インストール前に SD-Jukebox に取り込んだ音楽データは消去されません。

• **他に起動しているアプリケーションをすべて終了しておく**
• **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しない**

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2 付属 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

3 [SD-Jukebox Ver.6.95 LE のインストール] をクリックする

4 画面の指示に従ってインストールを続ける

シリアル番号入力画面では
CD-ROM パッケージの表面に記載されているシリアル番号を入力してください。

• **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**
• シリアル番号は必ず半角で入力してください。

パソコンを再起動すると、インストールは完了です。

◇ **インストーラーが自動的に起動しない場合**
1 Windows のスタートメニューで [ファイル名を指定して実行] をクリックする
2 [＊：¥autorun.exe] と入力し、[OK] をクリックする
• ＊は CD-ROM ドライブの ID です。
• 以下、画面の指示に従って続けてください。

4. 音楽記録の準備をする（付属 CD-ROM のインストール）（つづき）

■ SD-Jukebox を起動する

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする

2 表示モードを選び、クリックする

通常モード :
SD-Jukebox のすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード :
SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

音楽の転送方法については、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

デスクトップアイコンが表示されていない場合は

Windows のスタートメニュー→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［SD-JukeboxV6］→［SD-JukeboxV6］の順にクリックする

■ SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）について

SD-Jukebox の取扱説明書は、PDF ファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Reader が必要です。

取扱説明書（PDF ファイル）を読む

Windows のスタートメニュー→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［SD-JukeboxV6］→［SD-JukeboxV6 取扱説明書］の順にクリックする

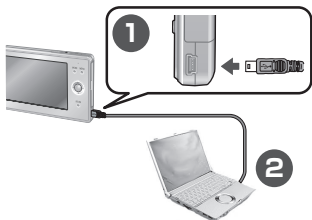
■ SD-Jukebox のご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

5. パソコンと接続する

USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

- （カードを使う場合）SD/microSD カードを本機に入れておく（P11）
- パソコンを起動させておく

❶ 向きを確かめ、USB 接続ケーブルを奥まで確実に差し込む

❷ USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

❸ ▲/▼ で［内蔵メモリー］、［SD カード］または［microSD カード］を選び、中央を押す

写真の取り込みや SD-Jukebox から音楽データの転送ができます。

■ USB 接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP：［ ］、Windows Vista：［ ］）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）

- USB 接続ケーブルを取り外すと、本機の電源は自動的にオフになります。

■ USB 接続先のメモリーを切り換える

本機に接続中の USB 接続ケーブルを取り外し、再度接続すると、接続先メモリーを選択して切り換えることができます。

■ SD-Jukebox で音楽データを転送する場合

1 左記手順❸で、［内蔵メモリー］、［SD カード］または［microSD カード］を選び、中央を押す

2 パソコンで SD-Jukebox を起動させる

詳しくは、64 ページをお読みください。

お知らせ

- ［アクセス中］表示中に SD カードや USB 接続ケーブルを抜き差しすると、内蔵メモリーや SD カード内のデータが消えたり、壊れることがあります。
- USB 接続先メモリーを選択後は本機を操作することはできません。
- USB 接続先メモリーを［内蔵メモリー］に選択した場合でも、パソコン側（SD-Jukebox）では SD カードと表示されます。表示例：[□ F：(SD カード)]
- パソコンと接続すると充電されますが、満充電になるまで約 8 時間かかります。また、充電中の表示はされません。

■ データ保存機能

本機は、USB リーダーライターとして機能します。

- 内蔵メモリーや SD カード内の [PRIVATE] フォルダ、[SD_AUDIO] フォルダ、［SD_VIDEO］フォルダは移動や消去、名前の変更をしないでください。

お知らせ

- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。
- 本機との接続中にパソコンを起動（再起動）したり、省電力モードになると、本機を認識しない場合やパソコンが起動（再起動）しない場合があります。そのときは、一度本機を取り外して再接続してください。また、パソコン起動時は、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。

1. 画質や音質の設定をする

❶ [MENU] を押す

❷ ▲/▼ で [その他の機能へ] を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で [画質の設定] または [音質の設定] を選び、中央を押す

❹ ▲/▼/◀/▶ で設定する

設定項目を選ぶ： ▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ： ◀/▶ を押す

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] を押してください。

設定は以下のモードで共通になります。
• [テレビを見る・録る] モードと [ビデオを見る] モードで共通
• [写真を見る] モードと [音楽を聴く] モードで共通
([画質の設定] の [明るさ調整] [明るさマニュアル調整] はすべてのモードで共通)

●お買い上げ時の設定

画質の設定

[テレビを見る・録る]・[ビデオを見る] モードの場合	[写真を見る]・[音楽を聴く] モードの場合
画質モード	
○ **スタンダード** 標準の画質モード ○ **シネマ** 映画視聴に向いた画質モード ● **ダイナミック** 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード	○ **スタンダード** 標準の画質モード ○ **ソフト** 目にやさしい画質モード ● **ダイナミック** 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード
明るさ調整	
明るさセンサーで検知した周囲の明るさに応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 ● **オート** ○ **マニュアル**	← [テレビを見る・録る]・[ビデオを見る] モードと共通の設定です。
明るさマニュアル調整 ([明るさ調整] が [オート] のときは設定できません)	
明るさを [－ 5] から [＋ 5] までの範囲で調整します。 • お買い上げ時は [± 0] に設定されています。	← [テレビを見る・録る]・[ビデオを見る] モードと共通の設定です。

1. 画質や音質の設定をする（つづき）

●お買い上げ時の設定

画質の設定

[テレビを見る・録る]・[ビデオを見る]モードの場合	[写真を見る]・[音楽を聴く]モードの場合
コントラスト自動調整	
視聴している画像の明暗に応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 ○ **オフ**　● **オン**	設定できません。

音質の設定

[テレビを見る・録る]・[ビデオを見る]モードの場合	[写真を見る]・[音楽を聴く]モードの場合
サウンド	
● **スタンダード** 全音域をバランスよくした音質 ○ **ミュージック** メリハリ感を強調した音質 ○ **ニュース** 人の声を聴きやすくした音質 ○ **トレイン**※ 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ ステレオインサイドホン接続時のみ設定できます。	● **フラット** 全音域をバランスよくした音質 ○ **ヘビー**※ 重低音を強調した音質 ○ **クリア** 高音部を鮮明にする音質 ○ **ボーカル** ボーカルを強調し、つやを出す音質 ○ **トレイン**※ 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ ステレオインサイドホン接続時のみ設定できます。
小声を大きくする（ステレオインサイドホン接続時は設定できません）	
小さな声を聴き取りやすくします。 ○ **オフ**　● **オン** ・音がひずむ場合は、[オフ] に設定してください。	設定できません。

2. タイマーを設定する

時間が経過するとアラーム音でお知らせする［アラーム］と、自動的に電源を切る［オフタイマー］を設定することができます。

1 **［MENU］を押す**

2 **▲/▼ で［その他の機能へ］を選び、中央を押す**

3 **▲/▼ で［タイマー設定］を選び、中央を押す**

4 **▲/▼ で［アラーム］または［オフタイマー］を選び、中央を押す**

5 **◀/▶ で時間を設定する**

［アラーム］を設定する場合
1 分～ 99 分まで、1 分単位で設定できます。

［オフタイマー］を設定する場合
以下の設定から選べます。

- **30 分**
- **60 分**
- **90 分**

6 **▲/▼ で［スタート］を選び、中央を押す**

［アラーム］を設定した場合

画面右下に［🔔］が表示され、秒読みを開始します。

設定した時間が経過すると・・・
アラーム音が 1 分間鳴ります。
- アラーム音や音量は変更できません。

◇ アラーム音を止めるには
いずれかのボタンを押してください。

［オフタイマー］を設定した場合

画面右下に［オフタイマー］が表示され、電源が切れるまでの時間（分）を表示します。

設定した時間が経過すると・・・
電源が切れます。
- ［今すぐ録画する］で録画している場合は、設定した時間になると録画を停止して電源が切れます。

◇ タイマー設定を取り消すには

1. **手順❸で、▲/▼ を押して、［タイマー設定］を選び、中央を押す**
2. **◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す**

各種設定

（お知らせ）

- 電源を切ったり、パソコンと接続すると、タイマー設定はキャンセルされます。
- 設定したタイマーの時間を変更することはできません。一度取り消してから設定し直してください。
- アラームとオフタイマーを同時に設定することはできません。

3. フォーマットやその他の設定をする

• [フォーマット]、[設定初期化] をする場合は、ビデオ、写真や音楽の再生を停止しておく

❶ [MENU] を押す

❷ ▲/▼ で [その他の機能へ] を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で [初期設定] を選び、中央を押す

❹ ▲/▼ で設定項目を選ぶ

●お買い上げ時の設定

フォーマット

フォーマットすると、内蔵メモリー、SD カードまたは microSD カード内のすべてのデータが消去されます。

1 手順 ❹ で、[フォーマット] を選び、十字キー中央を押す
2 ▲/▼ で [メモリー選択] を選び、◀/▶ で [内蔵メモリー]、[SD カード] または [microSD カード] を選ぶ
3 ▲/▼で [フォーマット実行] を選び、中央を押す
4 ◀/▶ で [はい] を選び、中央を押す

• 電池残量表示が赤色になっているときは、フォーマットすることはできません。

☞ 本機の廃棄 / 譲渡時のデータ消去について：P80

操作音

◀/▶ で設定内容を選ぶ

○ オフ
操作したときの音を鳴らさない
● オン
音で操作をお知らせする

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] を押してください。

エコ充電設定

◀/▶ で設定内容を選ぶ

● オフ
通常充電（100 % の充電）
○ オン
通常充電時の 90 % の充電

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] を押してください。

設定初期化

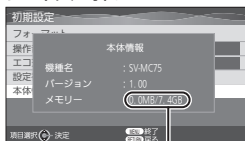
本機のチャンネル設定などをお買い上げ時の状態に戻します。

1 手順 ❹ で、[設定初期化] を選び、十字キー中央を押す
2 ◀/▶ で [はい] を選び、中央を押す

• 初期化しても、内蔵メモリーの写真やデータは消えません。
• 予約録画内容は消去されます。

本体情報表示

本機のファームウェア（制御ソフト）のバージョンや内蔵メモリーの使用容量を確認することができます。

手順 ❹ で、[本体情報表示] を選び、十字キー中央を押す

使用中 / 使用可能な容量

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] を押してください。

1. 外付けスタンドを使う

本機を置いてテレビ放送などを見るときに便利です。

■ **本機を縦向きに置く**

縦向きに構えて撮影した写真を表示するときに便利です。

☞ ［写真回転表示］を［縦置き］に設定する：P53

お知らせ

- 外付けスタンドは以下のような使いかたをしないでください。
  本機やスタンドが破損したり、けがをする恐れがあります。
  - 凹凸のあるところに置かない
  - 頭より高いところに置かない
  - 車のダッシュボードに置かない
- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 本機を縦向きに置いている場合は、SD カードの出し入れや AC アダプターの接続はできません。

2. こんな表示が出たら

表示	原因・対策
現在、受信できません。窓際など受信状態のよい場所で受信可能か、ご確認ください。(E202)	• 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。
現在、受信できません。窓際など受信状態のよい場所で受信可能か、ご確認ください。	• 窓際などに移動させても受信できない場合は、放送を休止している、あるいは受信するために必要なデータが取得できていないため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。

2. こんな表示が出たら（つづき）

表示	原因・対策
番組データがありません。	• 番組表を受信できません。電波状況がよくなるように、アンテナの角度や本機の向きを変えてみてください。 • 放送を休止している場合は、電波状況がよくても番組表を受信できない場合があります。
現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。	• チャンネル設定をしたときと異なる地域で受信しています。この場合、予約録画することはできません。チャンネル設定し直してください。（P21）
この番組は録画することができません。	• 有料放送など、放送局側で録画を禁止している番組は録画することができません。
開始時刻が未定の番組のため予約を登録することができません。	• 開始時刻が確定後に登録するか、時間を指定して予約登録してください。
終了時刻が未定の番組のため予約を登録することができません。	• 終了時刻が確定後に登録するか、時間を指定して予約登録してください。
予約登録／修正しました。メモリー残量が2時間未満です。予約録画開始までに、残量を確認してください。	• テレビ視聴画面で十字キーの ▲ を押すと残量の目安が表示されます。残量が足りない場合は不要なビデオファイルを消去するか、カードを入れ換えてください。
SD カードに再生できるビデオファイルがありません。 microSD カードに再生できるビデオファイルがありません。 再生できないビデオファイルです。	• 対応できる機種は 36 ページをお読みください。 • 録画時に電波状況が悪かった場合や、録画中に SD カードが抜かれた場合は、再生できないビデオファイルが作成されることがあります。 • 再生メモリーが異なる場合は、再生メモリーを切り換えてください。（P34）
SD カードに再生できる写真ファイルがありません。 microSD カードに再生できる写真ファイルがありません。 内蔵メモリーに写真ファイルがありません。カードから写真ファイルを取り込んでください。 再生できない写真ファイルです。	• 再生できる写真のファイル形式は JPEG です。（P47） • 再生メモリーが異なる場合は、再生メモリーを切り換えてください。（P41）

<table>
<tr><th>表示</th><th>原因・対策</th></tr>
<tr><td>写真ファイル異常のため、再生を継続できません。ファイルを確認してください。</td><td>• 本機で再生を継続できません。再生を継続するには、パソコンや他の機器で写真ファイルを確認し、消去してください。</td></tr>
<tr><td>選択されたメモリー間でコピーすることはできません。メモリーを再選択してください。</td><td>• SD カードと microSD カードの間で写真をコピーしたい場合は、一度内蔵メモリーにコピーしてください。</td></tr>
<tr><td>このモードでは使用できないカードです。</td><td>• 著作権保護機能に対応していない SD カードは［テレビを見る･録る］モード、［ビデオを見る］モード、［音楽を聴く］モードでは使用できません。当社製 SD カードなど、著作権保護機能に対応した SD カードを使ってください。</td></tr>
<tr><td>サポート外のフォーマットです。</td><td>• 内蔵メモリーやSDカードをWindows 標準のフォーマット機能などでフォーマットした場合は使用できません。本機でフォーマット（P70）してください。
（SD-Jukebox でフォーマットすることもできます。）</td></tr>
<tr><td>カードを確認してください。</td><td>• SD カードを取り出し、再度入れてみてください。（P11）
• マルチメディアカードは使用できません。
• SD 規格に準拠していないカードは使用できません。（P80）</td></tr>
<tr><td>エラーが発生したため、電源をオフします。再度電源を入れてご使用ください。</td><td>• 電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P92 ～ 94）にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>本機の温度が高い（低い）ため充電機能などが動作しません。常温でご使用ください。※</td><td>• 周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で充電してください。周囲温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなる場合があります。また充電できない場合もあります。（P15）</td></tr>
<tr><td>AC アダプターの電圧が異常です。故障の可能性がありますので修理窓口にご相談ください。</td><td rowspan="2">• 故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P92 ～ 94）にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>電池が故障している可能性があります。
修理窓口にご相談ください。※</td></tr>
</table>

※ 動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

3. 故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけないようにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない 操作できない 電源が切れない	• ホールド状態になっていませんか？（P9） • 電池が消耗していませんか？（P15） 電源を切っていても予約録画が始まると、電池を消耗します。 →電池を十分に充電するか（P14）、AC アダプターを接続して（P13）操作してください。 • クリップのようなもので [RESET] を押してください。 （本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから［RESET］を押してください。） RESET [RESET] [RESET] を押しても症状が直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
電源が切れる	• かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？ →ホールド状態にしてください。（P9） • オフタイマーが設定されていませんか？ →オフタイマーを設定している場合は画面右下に［オフタイマー］が表示されています。設定を解除してください。（P69）
充電できない 充電しても電池持続時間が短い	• 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？ →電池の充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。（P15） • はじめての充電や長時間未使用後の充電では電池持続時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 • 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。電池の交換は、お近くのサービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」（P92 ～ 94）にお問い合わせください。 • SD カードによっては、電池持続時間が極端に短い場合があります。当社製 SD カードで試してください。
本機が内蔵メモリーや SD カードを認識しない	• Windows 標準のフォーマット機能などで内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしませんでしたか？ →本機でフォーマット（P70）してください。 （SD-Jukebox でフォーマットすることもできます。） • 当社製 SD カードを本機に入れて試してください。
本体が熱い	• 充電中、動作中は多少熱くなりますが異常ではありません。

こんなときは	ここを確かめてください
録画ができていない	• 以下の場合は録画ができない、もしくは正しく録画されません。 - 録画に十分な録画可能時間が残っていない - 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている - 電池残量がなくなった - USB 接続している - 写真のコピー処理中や編集中 - 電波状況が悪い - 予約録画の時間が重なっている （SD カードの場合） - 録画開始時刻に SD カードが入っていない - SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている - 認識できない SD カード（サポート外のフォーマットなど）
予約録画した番組の最後の部分が録画されていない	• 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じときは、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。
ビデオファイルを 99 番組まで録画することができない	• 他機器やパソコンでビデオファイルの消去やフォーマットされていませんか？（P31） →本機でフォーマット（P70）してください。 （SD-Jukebox でフォーマットすることもできます。）
録画した番組が正常に再生されない	• 本機で再生できるビデオファイルですか？ →本機での再生に対応した機器を使って録画してください。（P36） • 録画中に電波状況が悪くなると、画面が乱れた状態で録画されます。また、電波状況が悪くて受信できない区間があった場合、この区間は録画されないので、再生するとこの区間をとび越して再生されます。
音楽データを他のパソコンに移動 / コピーできない	• SD-Jukebox やステレオシステムなどから内蔵メモリーや SD カードに記録した音楽データには暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。記録した音楽データは他のパソコンに移動 / コピーができません。
付属 CD-ROM のインストールができない	• お使いのパソコンが CD-ROM の動作環境に対応していますか？（P62）
SD-Jukebox Ver.6.95 LE の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	• Adobe Reader がお使いのパソコンにインストールされていますか？ → Adobe Reader が必要です。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）から Adobe Reader をダウンロードしてください。

3. 故障かな !? (つづき)

こんなときは	ここを確かめてください
SD-Jukebox が内蔵メモリーやSD カードを認識しない	• USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。 • SD-Jukebox Ver.5.x 以下を使用していませんか？ →付属の SD-Jukebox Ver.6.95 LE を使用してください。 • お使いのパソコンの USB 端子は正常に動作していますか？ →他の USB 機器を接続して確認してください。 • USB ハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？ →付属の USB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。 • 著作権保護機能に対応していない USB リーダーライターでは SD-Jukebox で認識できません。付属の USB 接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。
音楽再生できない	• 音楽データは SD オーディオ規格に準拠していますか？（P56） • SD-Jukebox を使って音楽データを転送しましたか？ → WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで内蔵メモリーや SD カードに直接転送しても本機で再生できません。 → D-snap ※でライン録音した音楽ファイルは本機で再生できません。
音楽再生時に • 音が途切れる • 音がとぶ • 雑音が多い	• SD-Jukebox から内蔵メモリーや SD カードに転送した音楽データは正常ですか？ → SD-Jukebox に取り込んでいる音楽を確認してください。 • 内蔵メモリーや SD カードを SD-Jukebox や本機でフォーマット（P70）してから音楽を転送すると、改善される場合があります。
50 音検索が正しくできない	• プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？ → SD-Jukebox でプレイリスト（半角）欄が正しく入力されているか確認してください。詳しくは SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
1 曲目から順番に再生しない	• [再生モード] が [ランダム] や [ランダムリピート] になっていませんか？（P59） • レジューム機能が働いていませんか？（P55）
聴こえない 音が小さい	• 音量が最小になっていませんか？ • ステレオインサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（一度抜いて、再度差し込んでください。） • ステレオインサイドホンのプラグが汚れていませんか？

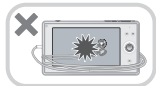
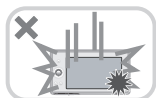
※ D-snap とは、当社製 SD オーディオプレーヤーのことです。

4. Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴するのに利用料金はかかるか？	本機での地上デジタル放送（ワンセグ）の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません。（2009 年 9 月現在） 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp
レコーダーなどの他機で録画した番組を本機で再生できるか？	対応できる機種は、36 ページをお読みください。
他社製の SD 対応ミニコンポで録音した SD カードを本機で再生できるか？	SD オーディオ規格に準拠していない他社製ミニコンポで録音した場合は、本機で再生できません。
音楽サイトからパソコンや携帯電話にダウンロードした音楽を本機で再生できるか？	• パソコンにダウンロードした音楽の場合、著作権保護された音楽データは SD-Jukebox にファイルインポートできないので再生できません。 • 携帯電話にダウンロードした音楽が SD オーディオ規格に準拠していない場合、本機で再生できません。
Windows Media Player で録音した音楽を本機で再生できるか？	SD-Jukebox を使ってファイルインポートすると、再生できます。（著作権保護された音楽データはファイルインポートできません。） ファイルインポートについて詳しくは、 SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
パソコンに、以前の SD-Jukebox が入っているが、付属の CD-ROM のインストールが必要か？ 音楽データはどうなるか？	本機で再生する場合は付属の SD-Jukebox Ver.6.95 LE のインストールをおすすめします。 SD-Jukebox Ver.6.9 LE 以下では、音楽再生時にジャケット写真を表示することができません。再インストールしても音楽データは消去されません。
どんなSDカードが使えるか？	対応できる SD カードについては 80 ページをお読みください。
写真や音楽の消去はどうしたらよいか？	写真を消去する場合は 50 ページをお読みください。本機で音楽の消去はできません。SD-Jukebox やステレオシステムなどで消去してください。
製造番号はどこにあるか？	本体スタンドを開いたところに記載しています。（P9）

5. 使用上のお願い

本機について

- 本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。
  また、本機に強い圧力をかけないでください。
  - 強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
  - 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
  - ズボンのポケットに入れたまま座らないでください。
  - ステレオインサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。液晶モニターの破損につながります。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

お手入れ

本機の電源を切り、誤操作防止のためホールド状態にしてから（P9）乾いた柔らかい布でふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けするものがあります。
これらの点は、SD カードや内蔵メモリーには記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターのお手入れは、乾いた柔らかい布のようなもの（眼鏡ふきなど）でふいてください。乾いた布で強くこすると液晶モニターに傷が付くことがありますのでお気をつけください。

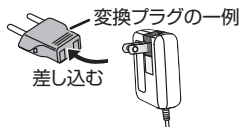
AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（AC アダプターのプラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています。）
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

SD カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない。折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない。

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ 本機で使用できる SD カード（2009 年 9 月現在）

SD メモリーカード/miniSD カード※/microSD カード	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード/microSDHC カード	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの

※使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。（P11）

- SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください。）
- 4 GB 以上のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- カードのスピードクラス（連続的な書き込みに関する速度規格）に関係なく、使用できます。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 対応記録メディアの詳細は、83 ページをお読みください。

SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カードや内蔵メモリー内のデータは完全には消去されません。

- SD カードはカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトでデータを完全に消去することをおすすめします。
- 内蔵メモリーは物理フォーマットでデータを完全に消去することをおすすめします。

内蔵メモリーを物理フォーマットする手順

① 本機を AC アダプターに接続する
② 70 ページの［フォーマット］の手順 **2** で、◀/▶ を押して［内蔵メモリー］を選ぶ
③ ▲/▼ で［フォーマット実行］を選び、中央を押す
④ ▲ を約 3 秒間押してから、◀/▶ で［はい］を選び、中央を押す
・完了したら、通常画面へ戻ります。（フォーマットは約 45 分かかります。）

- SD カードや内蔵メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

6. 本機を廃棄するときのお願い

ご使用済み製品の廃棄に際しては、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。電池の取り出しかたについては 82 ページをお読みください。本機のデータを完全に消去するには、80 ページの「内蔵メモリーを物理フォーマットする手順」をお読みください。

• 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

<table>
<tr><td>⚠ 危険</td><td>本機専用の充電式電池です
この機器以外に使用しない
取り出した充電式電池は充電しないでください。
• 火への投入、加熱をしない
• くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
• ⊕ と ⊖ に金属などを接触させない
• ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
• 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
• 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
• 水中への投入をしない
液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
• 万一、液もれが起こったら素手で液をさわらないでください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。</td></tr>
<tr><td> 警告</td><td>取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
• 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</td></tr>
</table>

本機の使用電池

名称：　リチウムイオン（Li-ion）充電式電池

公称電圧：DC 3.7 V

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
• ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

6. 本機を廃棄するときのお願い（つづき）

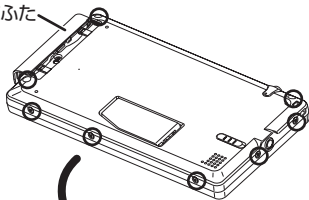
■ 電池の取り出しかた

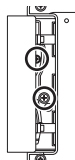
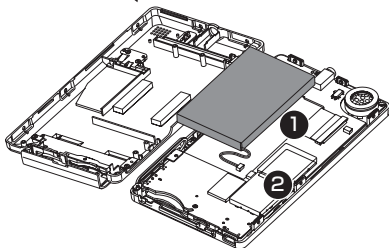
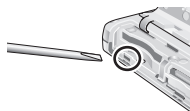
電池を使いきってから分解してください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い､以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません。）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。（P92）

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1. ねじを外す（8 本）
- ねじを外すには、プラスドライバーをお使いください。

2. カードふたを開ける

3. カードふたを開けたところのねじを外す（2 本）

4. マイナスドライバーをくぼみに差し、ドライバーをひねって本機裏面を開ける

5. 電池を取り出す

❶ 電池を持ち上げる

❷ コードを持って引き抜き、電池を取り出す

使用済み電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

7. 仕様

電源	DC 3.7 V（内蔵電池使用時）/DC 5.0 V、500 mA（AC アダプター使用時）
消費電力	2.0 W

充電時間（周囲温度 25℃で充電時）		通常充電：約 4 時間 30 分 エコ充電：約 3 時間 • 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
推奨動作温度		0 ℃～ 40 ℃
液晶ディスプレイ（アスペクト比 16:9）		4.3 V 型 ※1 画素数：横 480 ×縦 272
画面寸法		幅 95.0 mm、縦 53.9 mm、対角 109.2 mm
スピーカー		200 mW（8 Ω）モノラル
接続端子	**ヘッドホン端子**	φ 3.5 mm ステレオミニジャック 2.5 mW+2.5 mW（付属ステレオインサイドホン：32 Ω時）
	USB 端子	USB 2.0（High Speed）
本体寸法		幅 136.0 mm ×高さ 74.5 mm ×奥行き 14.5 mm(突起部除く)
最大外形寸法		幅 136.6 mm ×高さ 75.5 mm ×奥行き 16.3 mm（JEITA） 幅 136.6 mm ×高さ 73.2 mm ×奥行き 53.3 mm （本体スタンド使用時）
質量		約 187 g
対応記録メディア※2		SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） microSD カード（64 MB ～ 2 GB） microSDHC カード（4 GB ～ 16 GB） 内蔵メモリー※3：8 GB

※ 1　V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 2　使用可能領域は表示容量より少なくなります。
※ 3　内蔵メモリーは管理情報などのデータ保存用にも使用しています。そのため、実際にご使用いただけるメモリー容量は 8 GB より小さくなります。

テレビ

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）:UHF13 ch ～ 62 ch（データ放送、緊急警報放送受信非対応）
連続録画時間	最大 8 時間（AC アダプター使用時）
録画番組数※4	最大 99 番組
予約録画番組数	最大 12 番組

※ 4　SD カードの場合はカード 1 枚あたりの録画番組数です。

音楽

サンプリング周波数※5	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ

※ 5　対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

7. 仕様（つづき）

写真

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠、 マルチピクチャーフォーマット（HD サムネイル）対応
画素数	64 × 64 ～ 5120 × 3840
最大ファイルサイズ	10 MB
最大フォルダ数	1000
最大ファイル数	40000

電池持続時間

	明るさ［− 5］	明るさ［± 0］	明るさ［+ 5］
テレビを見る	約 5 時間 30 分	約 4 時間 30 分	約 3 時間 30 分
テレビを録画する	約 5 時間 30 分	約 4 時間 30 分	約 3 時間 30 分
ビデオを見る	約 6 時間	約 5 時間	約 4 時間
写真を見る	約 6 時間	約 5 時間	約 4 時間
音楽を聴く	約 7 時間	約 7 時間	約 7 時間

- お買い上げ時、［明るさ調整］は［オート］に設定されています。［マニュアル］に変更して設定を下げることによって、電池持続時間を延ばすことができます。（［明るさ調整］を設定するには 67 ページをお読みください）
- ［コントラスト自動調整］（P68）を［オン］や［明るさ調整］（P67）を［オート］に設定している場合、電池持続時間が短くなる場合があります。
- 上記時間は、通常充電で充電した場合です。エコ充電で充電した場合の電池持続時間は、通常充電時の約 90%の時間となります。

（電池持続時間測定条件）

テレビを見る	放送波受信、本体アンテナ受信感度：高感度、付属ステレオインサイドホン使用
テレビを録画する	視聴録画時、本体アンテナ受信感度：高感度、内蔵メモリー使用、付属ステレオインサイドホン使用
ビデオを見る	内蔵メモリー使用、付属ステレオインサイドホン使用
共通の設定	常時画面オン、画質モード：ダイナミック、音量：13、 サウンド：スタンダード、明るさ調整：マニュアル、 コントラスト自動調整：オフ
写真を見る	BGM：オフ、画質モード：ダイナミック、内蔵メモリー使用
音楽を聴く	再生ファイル：ビットレート 96 kbps の AAC、内蔵メモリー使用、付属ステレオインサイドホン使用 省電力設定：オン、音量：13、サウンド：フラット、再生中の写真表示設定：オフ

- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

AC アダプター

入力	AC 100 V ― 240 V、50/60 Hz、13 VA
出力	DC 5.0 V　720 mA

リチウムイオン内蔵電池

電圧 / 容量（最小）	DC 3.7 V　1450 mAh

録画可能時間の目安（ビットレート 412 kbps で算出）

SD カード容量	録画可能時間※6
128 MB	約 41 分
256 MB	約 1 時間 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分
1 GB	約 5 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分
4 GB	約 21 時間 19 分
6 GB	約 32 時間 25 分
8 GB	約 43 時間 24 分
12 GB	約 65 時間 28 分
16 GB	約 87 時間 20 分
32 GB	約 175 時間 12 分

※ 6　放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を録画する場合は、録画可能時間よりも長く録画できます。
例：録画可能時間の表示が 45 分の場合でも、1 時間録画できたなど（時間の差は録画した番組の情報量によって変わります）

- 本機の内蔵メモリーは 8 GB ですが、管理情報などのデータ保存用にも使用するため、上表の SD カード 8 GB より録画可能時間は少し短くなります。
（本機の内蔵メモリーでの録画可能時間は約 42 時間 54 分です。）

内蔵メモリーへの写真保存可能枚数の目安

画素数	12 M（4000 × 3000）		3 M（2048 × 1536）	
クオリティ	ファイン（約 6.9 MB）※7	スタンダード（約 3.4 MB）※7	ファイン（約 1.65 MB）※7	スタンダード（約 0.8 MB）※7
保存可能枚数	約 1090 枚	約 2220 枚	約 4570 枚	約 9330 枚

※ 7　1 ファイルあたりのファイルサイズは、（　）に記載された値で計算しています。

内蔵メモリーへの音楽記録時間の目安

音質	高音質（128 kbps）	標準（96 kbps）	長時間（64 kbps）
録音時間	約 134 時間 52 分	約 139 時間 5 分	約 142 時間 38 分

- SD オーディオ規格上の制限のため、曲数とプレイリスト数に以下の制限があります。
曲数：最大 999　プレイリスト数：最大 99　1 プレイリストあたりの曲数：99
- SD カード容量の音楽記録時間の目安は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。（表示できない文字は［ _ ］と表示されます）
表示可能文字　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※8 には対応していません）

※ 8　MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

本機は充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

分解、改造をしない

（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機の金属部や AC アダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

AC アダプターのプラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない）

傷んだまま使用すると、火災･感電･ショートの原因になります。

・プラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

⚠ 警告

歩行中や乗り物を運転中はテレビなどの映像を見ない

交通事故の原因になります。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所でステレオインサイドホンを使わない

事故の原因になります。

- 踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

AC アダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

AC アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ･ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠ 警告

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 注意

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる

• 音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
音量は少しずつ上げてご使用ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機を手に持って長時間使用しないでください。低温やけど※の原因になることがあります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

イヤーパッドは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に影響を及ぼす場合があります。

• 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

• スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

⚠ 注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

- アンテナを伸ばして使用するときは、十分に注意してください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

付属の AC アダプターを使う

付属以外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

AC アダプターを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、AC アダプターを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- メモリーカードは、保護のため取り出しておいてください。

8. 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電　話（　　　　）　　－			
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな !?」（71 ～ 76 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	ポータブルテレビ
●品　番	SV-MC75（エスブイ エムシー）
●故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
  （但し、CD-ROM 内のソフトウェアの内容は含みません）

- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

8. 保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

※ **補修用性能部品の保有期間 8年**
当社は、このポータブルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

各地域の 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

- ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについては裏表紙をご覧ください。

8. 保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	府県	電話番号	住所
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0509

9. さくいん

英数字

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

や 行

ら 行

わ 行

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!
アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

http://club.panasonic.jp/

http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】
・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

愛情点検　**長年ご使用のポータブルテレビの点検を！**

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が乱れたり出ないことがある	● 内部に水や異物が入った ● 本体や AC アダプターが破損した ● その他の異常や故障がある

▼

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SV-MC75
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT9523-1S
H0909YR1010